

公益財団法人勤労者福祉ネットワーク2024年度事業報告書

(2025年6月2日 第47回理事会承認／2025年6月23日 第13回評議員会承認)

はじめに

新型コロナウイルス感染症が法律上の5類へと移行されてから3年余り、感染者がゼロになることはありませんが、社会全体の空気も当時に比べて明るさを取り戻しています。

しかし、少子高齢化に伴う人口減少や慢性的な労働力不足といった構造的課題は深刻さを増しており、地域社会における格差や孤立の問題は依然として私たちの前に立ちはだかっています。加えて、昨年発生した能登半島地震では、多くの尊い命が失われ、改めて災害への備えと共助の精神の重要性を痛感しました。

国際的にも、ロシアによるウクライナ侵攻は継続し、中東情勢も不安定化の様相を強めています。食料やエネルギーの供給網は不安定化し、円安や物価高騰など、日本の生活基盤にも大きな影響を及ぼしています。さらに、急速に進展する生成AIをはじめとしたデジタル技術の革新は、私たちの働き方や暮らしに新たな可能性をもたらす一方、情報格差や倫理的な課題も生んでいます。

このような時代だからこそ、私たちは改めて「私たちにできること」を問い直し、「平和なくして福祉なし」というスローガンを掲げ、分断や対立ではなく、連帯・協調・共生の価値を社会に広げていきたいと考えます。

私たちは徳島が生んだ偉人・賀川豊彦の精神に学び、財団の理念である「人々の連帯を軸とした共助・共生の福祉社会の実現」に向けて、着実な一歩を積み重ねてまいります。

【2024年度重点課題】

- (1) 急速に進む少子高齢化・人口減少社会において、子育て支援、少子化対策として、
 - ①ファミサポ利用補助制度、病児・病後児預かり事業の全県下への拡大
 - ②“結婚したい”を応援するマリッサとくしまの更なる事業拡充
 - ③赤ちゃんとふれあい“いのちの誕生”と“いのちの大切さ”を体験する『赤ちゃん授業』の県内全中学校での実施
 - ④県内全ての『学童保育』での公設民営の実現
- (2) あわ～ず徳島の福祉サービスの拡充と会員間交流の推進による2万人会員の早期達成
- (3) “どないかせな”と社会貢献にチャレンジするNPO市民団体を支援するハートフルゆめ基金の更なる拡充と、遺贈寄付、休眠預金活用の検討
- (4) 外国人が日本一活躍する“共生社会の徳島創造”へ向けたユニバーサルカフェ『つながり』の事業拡大
- (5) 我が郷土が育んだ“協同組合の父”賀川豊彦の顕彰・継承へ向けた賀川豊彦記念・鳴門友愛会との包括的連携協定の締結

1. 機関会議の開催

当財団の事業が、県民の労働者福祉に寄与できるよう、そのことを職員ひとり一人が共有し認識したうえで事業に取り組むため下記のとおり会議を開催しました。

(1) 評議員会の開催

第12回評議員会の開催

と き：2024年6月24日（月）14：00～

ところ：ろうきんホール

出席：評議員総数15名中14名出席

理事総数19名中16名出席

監事総数3名中3名出席

議案審議

- 第1号議案 2023年度貸借対照表、損益計算書、貸借対照表及び損益計算書付属明細、財産目録承認の件（2023年度事業報告並びに事業報告の付属明細含む）
- 第2号議案 ガバナンス強化に伴う財団の定款、規程等の改定についての件
- 第3号議案 役員補欠選任の件



2024.06.24 第12回評議員会



評議員会開会前にハートフルゆめ基金助成式

(2) 理事会の開催

第43回理事会の開催

と き：2024年5月29日（水）15：30～

ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室

出席：理事総数19名中16名出席

監事総数3名中1名出席

議案審議

- 第1号議案 2023年度事業報告（案）承認の件
- 第2号議案 2023年度事業決算（案）及び監査報告承認の件
- 第3号議案 第12回評議員会招集の件
- 第4号議案 評議員及び役員の補欠選任の件



2024.05.29 第43回理事会

第44回理事会の開催

と き：2024年6月24日（月）14：00～

ところ：ろうきんホール

理事総数19名中16名出席

監事総数3名中3名出席

議案審議

- 第1号議案 第1号議案 副理事長選任の件



2025.03.17 第46回理事会

第45回理事会の開催

と き：2024年9月25日（水）15：00～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
出 席：理事総数19名中14名出席
監事総数3名中1名出席

議案審議

- 第1号議案 2024年度上期事業進捗状況並びに
下期重点課題の取り組み承認の件
- 第2号議案 2024年度補正予算承認の件
- 第3号議案 育児・介護休業等に関する規則の改定
について

第46回理事会の開催

と き：2025年3月17日（水）15：00～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
出 席：理事総数19名中14名出席
監事総数3名中1名出席

議案審議

- 第1号議案 2024年度上期事業進捗状況並びに
下期重点課題の取り組み承認の件
- 第2号議案 2024年度補正予算承認の件
- 第3号議案 育児・介護休業等に関する規則の改定
について

（3）常勤理事会（理事長・専務理事・常務理事）

常勤理事会（4月）の開催

と き：2024年4月11日（木）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：2024年度の財団運営について
・人事管理について
・コンプライアンス委員会について
・各事業、委員会について
・評議員会の開催について
・当面の日程の確認

常勤理事会（5月）の開催

と き：2024年5月9日（木）16：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：駐車料金について
・美馬FSCの著作権問題について

常勤理事会（6月）の開催

と き：2024年6月5日（水）13：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：ハートフルゆめ基金徳とくしまについて

と き：2024年6月12日（水）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：賞与日程について
・賀川記念館の指定管理状況 情報共有
・ファミサポ25周年記念イベント

常勤理事会（7月）の開催

と き：2024年7月8日（月）9：30～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：8月度スタッフ全員会議について
社会運動資料センター公開講座について

常勤理事会（8月）の開催

と き：2024年8月16日（金）9：30～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：総務の役割分担について
・財団のガバナンスについて

常勤理事会（9月）の開催

と き：2024年9月17日（火）15：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：各事業の進捗確認
・賀川豊彦ゆうあいフェスタについて

常勤理事会（10月）の開催

と き：2024年10月8日（火）9：30～
※執行役員も同席
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：中期ビジョン2030について
・徳島県最賃改訂に伴う賃金改訂について
・学童保育について
・財団周年事業（マリッサ、くーぼん丸。、ハートフル）
・つながりの事業化について
・あわ～ず事業のアプリ化について
・調査資料室の設置について
・賀川豊彦ゆうあいフェスタについて

と き：2024年10月16日（水）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：進捗確認

と き：2024年10月21日（月）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：pcなどリース物件の件

常勤理事会（11月）の開催

と き：2024年11月4日（火）15：30～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：リース物件の契約について
冬季一時金の支給について
1月度スタッフ全員会議について
中期ビジョン2030について

と き：2024年11月29日（木）11：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：弔慰金支払い基準について
「つながり」運営委員会の設置について
とくしま社会運動資料センターの公開講座

常勤理事会（12月）の開催

と き：2024年12月23日（火）15：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：各事業の進捗確認

常勤理事会（2025年1月）の開催

と き：2025年1月6日（月）15：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：中期ビジョン2030について
3月理事会議案について
各事業部課題について
秘書広報室・調査資料室の設置について
人事について

常勤理事会（2025年2月）の開催

と き：2025年2月20日（木）16：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：中期ビジョン2030について
企画コンペについて
ゾリグ財団との交流について

常勤理事会（2025年3月）の開催

と き：2025年3月6日（木）13：30～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：賃金改定について
人事について
4月度スタッフ全員会議について
秘書広報室・資料調査室について
学童保育など新規事業について
周年事業について

と き：2025年3月10日（月）10：00～
※執行役員を加えた拡大常勤理事会
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 会議室
議 事：組織機構について
2025年度の事業について
関係団体との連携について
2025年度の人事について
4月度スタッフ全員会議について
中期ビジョン2030 最終確認

と き：2025年3月24日（月）15：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 役員室
議 事：2025年度事業について
人事について
年度仕事納式について
ゾリグ財団との交流について

（4）常勤役員会の開催（常勤理事・参与・次長）

第1回常勤役員会の開催

と き：2024年4月2日（火）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：各セクション進捗を共有
ガバナンス強化推進について
財団の福利厚生について
第5次モンゴル訪問団について
監事監査～理事会～評議員会に向けて
4月度スタッフ全員会議について
新人研修について

第2回常勤役員会の開催

と き：2024年5月7日（火）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：各セクション進捗を共有
ガバナンス強化推進（窓口スタートまで）
第5次モンゴル訪問団について
NW 中期ビジョン策定について

第3回常勤役員会の開催

と き：2025年6月4日（火）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：各セクション進捗を共有
ガバナンス強化推進
第5次モンゴル訪問団について
評議員会に向けて
NW 中期ビジョン策定について

第4回常勤役員会の開催

と き：2024年7月4日（火）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：各セクション進捗を共有
ガバナンス強化推進について
中期ビジョン2030策定について
8月度スタッフ全員会議について
社会運動資料センター公開講座について

第5回常勤役員会の開催

と き：2024年8月6日（火）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：各セクション進捗を共有
ガバナンス強化推進について
中期ビジョン2030策定について
講師謝金の見直しについて
理事会について
三好長慶武者行列祭りについて
賀川豊彦ゆうあいフェスタへの協力について

臨時常勤役員会（部長会）の開催

と き：2024年8月29日（木）11：30～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：台風10号接近に伴う財団の対応について
状況の共有、行政との協議・対応
周知方法の確認

第6回常勤役員会の開催

と き：2024年9月3日（火）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：ガバナンス強化推進 マニュアル・チラシ
中期ビジョン2030の進捗について
講師謝金の見直しについて
烏雲先生里帰り交流会について
徳島県知事・徳島市長への要請について

第7回常勤役員会の開催

と き：2024年10月1日（火）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：相談窓口スタート
事業委員会の運営について
中期ビジョン2030の進捗について
三好長慶武者行列祭りへの参加募集
賀川豊彦ゆうあいフェスタ役割分担について

第8回常勤役員会の開催

と き：2024年11月5日（火）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：各セクション進捗を共有
相談窓口スタート後の各部署の反応など
中期ビジョン2030策定委員会について
賀川豊彦ゆうあいフェスタ最終確認
フードバンクとくしま越年支援への協力

第9回常勤役員会の開催

と き：2024年12月3日（火）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：各セクション進捗を共有
中期ビジョン2030策定委員会報告
仕事納め～仕事始めについて
1月度スタッフ全員会議について
フードバンクとくしま越年支援への協力
企画コンペについて
DX年賀状について

第10回常勤役員会の開催

と き：2025年1月7日（火）10：00～
ところ：コワーキングスペース くらまち
（徳島市佐古四番町 4-15）
議 事：中期ビジョン2030について
1月度スタッフ全員会議最終確認
企画コンペ新進捗確認

第11回常勤役員会の開催

と き：2025年2月4日（火）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：各セクション進捗を共有
中期ビジョン2030策定委員会報告
企画コンペ採点と受賞者の確認
3月理事会準備

第12回常勤役員会の開催

と き：2025年3月4日（火）10：00～
ところ：徳島県勤労者福祉ネットワーク 小会議室
議 事：各セクション進捗を共有
中期ビジョン2030策定委員会報告
3月理事会準備
2025年度人事について（辞令交付迄）
とくしまピースネット80の活動について
国際協同組合年へ向けた取り組み

(5) 事業委員会の開催

(常勤理事・参与・参事・部長・所長・室長・センター長・館長)

第1回事業委員会の開催

と き：2024年4月16日(火) 10:30～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
議 事：各事業部報告(特徴的な課題について)
・スケジュールの確認

第2回事業委員会の開催

と き：2024年5月21日(火) 10:30～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
議 事：各事業部報告(特徴的な課題について)
・スケジュールの確認

第3回事業委員会の開催

と き：2024年6月24日(月) 15:00～
ところ：徳島県立中央テクノスクール ろうきんホール
(徳島市南末広町 23-64)
※第12回評議員会と合同(書面開催)

第4回事業委員会の開催

と き：2024年7月16日(火) 10:30～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
議 事：各事業部報告(特徴的な課題について)
・スケジュールの確認

第5回事業委員会の開催

と き：2024年8月20日(火) 10:30～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
議 事：各事業部報告(特徴的な課題について)
・スケジュールの確認

第6回事業委員会の開催

と き：2024年9月17日(火) 10:30～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
議 事：各事業部報告(特徴的な課題について)
・スケジュールの確認

第7回事業委員会の開催

と き：2024年10月15日(火) 10:30～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
議 事：各事業部報告(特徴的な課題について)
・スケジュールの確認

第8回事業委員会の開催

と き：2024年11月19日(火) 10:30～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
議 事：各事業部報告(特徴的な課題について)
・スケジュールの確認

第9回事業委員会の開催

と き：2024年12月17日(火) 10:30～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
議 事：各事業部報告(特徴的な課題について)
・スケジュールの確認

第10回事業委員会の開催

と き：2025年1月21日(火) 10:30～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
議 事：各事業部報告(特徴的な課題について)
・スケジュールの確認

第11回事業委員会の開催

と き：2025年2月18日(火) 10:30～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
議 事：企画コンペ結果発表 表彰
・各事業部報告(特徴的な課題について)
・スケジュールの確認

第12回事業委員会の開催

と き：2025年3月18日(火) 10:30～
ところ：徳島県労働福祉会館5階 502会議室
議 事：各事業部報告(特徴的な課題について)
・スケジュールの確認

(6) スタッフ全員会議(全役職員)

第1回スタッフ全員会議(職員研修)

と き：2024年4月23日(火) 10:30～
ところ：JR ホテルクレメント徳島
内 容：新入職員紹介
・研修「ともに働く・ともに生きる」
～映画上映と講演会～
中村哲氏の映画
ワーカーズコーク酒井氏の講演

第2回スタッフ全員会議（職員研修）

フィールドワーク付きテーマ別研修会

テーマ1「共生社会へ」太陽と緑の会

と き：① 2024年8月19日（月）14:00～

② 2024年9月20日（金）14:00～

※②は8/30の予定だったが台風接近で延期

ところ：NPO 法人太陽と緑の会

内 容：ハンディのあるメンバーによるリユース
ショップの運営、次世代型ソーシャルアク
ションモデルを学ぶ。



2024.04.23 財団4月度スタッフ全員会議

テーマ2「環境保護1」コウノトリ基金

と き：① 2024年10月16日（水）13:00～

② 2024年10月25日（金）13:00～

ところ：とくしまコウノトリ基金 大谷ベース

内 容：コウノトリの保護を通じた地域農業や地域経
済の活性化。様々な取り組みを講演とビオ
トープの観察で学ぶ。



2024.08.19 スタッフ全員研修「太陽と緑の会」

テーマ3「環境保護2」とくしま自然観察の会

と き：① 2024年8月28日（水）10:00～

② 2024年9月6日（金）13:00～

ところ：吉野川河口住吉干潟

※①8/28は台風接近のため座学に変更

内 容：「シオマネキ」は自然のバロメーター。吉野
川の自然の豊かさに触れ、シオマネキが生息
できる吉野川河口の環境について学ぶ。



2024.09.06 スタッフ全員会議「自然保護2」

第3回スタッフ全員会議（研修と交流）

と き：2025年1月14日（火）10:00～

ところ：グランヴィリオホテル徳島

内 容：講演① 四十年の活動を振り返って
（太陽と緑の会 杉浦代表理事）

講演② コウノトリが舞う笑顔輝く未来に
（とくしまコウノトリ基金 熊谷理事長）

・自治体やNPOなど実務者との交流



2024.10.25 スタッフ全員会議「コウノトリ」

（7）衛生委員会（衛生委員）

基本毎月1回開催。各事業部の衛生管理に関する
定例報告、健康診断やストレスチェックの計画、
実施等について協議。

（8）編集委員会（編集委員）

不定期開催。あわ～ず会報、ネットワーク会報の
編集方針の決定、イベント、割引サービスの企画
提案、財団各事業の取材、原稿作成等。

2. ガバナンス強化について

2022 年度財団 25 周年の節目に、**100 人体制、5 億円を超える規模の事業体**となった財団として、ガバナンス強化推進を掲げ、総務セクションのさらなる強化を軸に、**次の 10 年へ向けた持続可能な組織運営を意識した体制づくり**に取り組みました。

2023 年度、理事会、評議員会での協議、承認を経て、執行役員の新任、業務管理システム、会計システムの見直し、ガバナンス強化に伴う規程の見直しと新設、そして**コンプライアンス委員会の設置**を実施しました。

コンプライアンス委員会では、コンプライアンス相談窓口、内部通報制度相談窓口の設置などが協議され、委員会での議論を踏まえた、「**コンプライアンス・ハラスメント『あんしん相談窓口』**」が**2024 年 10 月 1 日より**スタートしました。

また、2024 年 10 月 28 日には、「**財団中期ビジョン 2030**」策定委員会を発足、6 回にわたる策定委員会で議論を重ね、**5 年後のあるべき姿**を描きました。

設立当初から掲げてきた「“いつでも、どこでも、だれでも” が利用できる勤労者の総合福祉をめざす」との理念を軸とし、**地域社会とともに笑顔あふれる福祉社会の実現**をめざしていきたいことが盛り込まれ、変化する社会に柔軟に対応しながら、財団、役職員が、**5 年後も地域から信頼される存在であり続けるため、具体的な目標**を掲げ、ビジョンとしています。

(1) コンプライアンス・ハラスメント『あんしん相談窓口』の開設

2024 年 10 月 1 日よりスタート

財団内に不正行為が発生した場合、対応を誤ると、築いてきた信頼が失われ、事業廃止の危機にもつながります。「あんしん相談窓口」は、財団内で起こった不正行為等について、迅速かつ適切に対応することで、**財団の損失を最小限に留め、職員の安心・安全、そして生活を守ることを目的**としてスタートしました。

(2) 「財団中期ビジョン 2030」策定委員会の設置

第 1 回「財団中期ビジョン 2030」策定委員会

と き：2024 年 10 月 28 日（木）15：30～

ところ：財団大会議室

委 員：協田評議員（経営者協会）・米澤監事（社労士専門）・梶本評議員（労福協）
清瀬氏（アライブラボ）徳島県・徳島市よりオブザーバー
中村アドバイザー（元文理大 学部長）

財団：久積理事長・杉本専務・石堂常務・松下執行委員・井口執行委員

内 容：委員の委嘱、正副委員長の選任（委員長：協田評議員・副委員長：米澤監事）
骨子（事務局案）の提示と意見交換

第 2 回「財団中期ビジョン 2030」策定委員会

と き：2024 年 11 月 29 日（金）10：00～

ところ：財団大会議室

内 容：「中期ビジョン 2030」骨子素案の提案と意見交換

第3回「財団中期ビジョン2030」策定委員会

と き：2024年12月13日～年末

※メールによる持ち回り会議

内 容：「第2回中期ビジョン2030策定委員会意見提言まとめ」の確認
「中期ビジョン2030第1素案」、「骨子素案」、「用語集」の確認、加筆修正
デザインイメージの共有等

第4回「財団中期ビジョン2030」策定委員会

と き：2025年1月24日（金）10：00～

ところ：財団小会議室

内 容：経過報告と「中期ビジョン2030」第2素案の提案と意見交換

第5回「財団中期ビジョン2030」策定委員会

と き：2025年2月28日（金）10：00～

ところ：財団小会議室

内 容：経過報告と「中期ビジョン2030」第3素案の提案と意見交換

第6回「財団中期ビジョン2030」策定委員会

と き：2025年3月3日～6日

※メールによる持ち回り会議

内 容：「中期ビジョン2030」最終案の修正と校了の確認

その後、3月17日「第46回理事会」冒頭で委員会から財団へ答申され、理事会で正式に確認されました。



2025.3.17 第46回 理事会で答申



2025.3.17 答申書の授受

3. “これからの10年”を見据えた人材育成

(1) 財団事業企画コンペの実施

2024年度も、例年同様「徳島の地域社会の未来ーネットワーク事業の可能性ー」と題し、2025年1月に実施しました。今年は最優秀賞×1、優秀賞×3、特別賞×2、奨励賞×1をそれぞれ選びました。企画案の実現に向け懸命に努力しています。

受賞企画

最優秀賞…財団オリジナル SDGs バッジ〜くーぼん丸。Ver〜
優秀賞……未来の希望を目で見る絶好の機会を生かす！！親子で EXPO
優秀賞……より大きく、より多様な新しいコミュニティスクール
優秀賞……「あわ〜ず徳島」「マリッサとくしま」協働によるステップアッププラン
特別賞……ウェル♥BABY ♥カム講座
特別賞……SECURITY ACTION による情報資産と信頼の保護
奨励賞……◎パパママが小学生に！？一緒に遊ぼう◎

(2) 財団職員全員の防災士資格取得への挑戦

多数の死傷者が予想されている南海トラフ大地震、徳島県では30年以内に発生する確率は70～80%。財団では、家庭、職場での発災時に「一人でも多くの命を救いたい」とし全職員が防災士の資格を取得することを宣言し、実現に向け取り組んでいます。
2024年度は、8名が防災士資格を取得しました。

(3) 新人研修の実施

毎年実施している、新人研修について、毎年4月～5月頃鳴門市賀川豊彦記念館で実施しています。2024年度は、5月13日に実施しました。

(4) 賀川豊彦学校への参画

今年度も認定NPO法人賀川豊彦記念・鳴門友愛会（理事長：久積育郎）による「賀川豊彦学校」（第3期）を12名の職員が入校し、全員。

(5) スタッフ全員会議の新たな取り組み～8月度スタッフ全員会議

今回初めての試みとして「フィールドワーク付きテーマ別研修会」を実施。テーマ・時期などにより3つのテーマ、6つのグループを用意。都合の良い日程、興味のあるテーマから、1つを選んで受講するシステム。座学による知識の習得とフィールドワークによる体験により、職員の社会課題に対する意識の向上をめざします。



太陽と緑の会



とくしま自然観察の会



コウノトリ基金

4. 多文化共生社会へ向けて



ライフサポート部

財団では、この間、徳島に住む外国人や周辺の日本人が互いを理解し合い、共生できる社会の実現を目指し、多文化共生社会へ向けた具体的な事業に取り組んでいます。

ユニバーサル・カフェ「つながり」について

「多文化共生社会へ向けた具体的な事業」の主な事業として、2021年6月、ユニバーサル・カフェ（多様な方が集える場づくり）「つながり」事業をスタートしました。

ハーブの栽培、藍染のアクセサリーの制作、さまざまな出身国の方々による講演会、クリスマス会や夏祭りをテーマにした交流会の開催などを通じて、コミュニケーションを促進し、出身国という「見えない壁」を取り払い、さらにはハンディを抱える人たちも含む多様な人たちが集まり、日ごろの想いを語り、協力し合い、自己実現を目指すための第一歩となる場として、ユニバーサル・カフェ「つながり」の事業に取り組んでいます。

5. 財団の関係団体の取り組みとの積極的な連携

コロナ禍がきっかけで始まった毎年恒例の、「鳴門教育大学留学生の生活支援」（賀川豊彦記念・鳴門友愛会、フードバンクとくしまが共催）にも、企画段階から協力、今年は10月25日の実施しました。



開催日：10月30日（水）11:00～13:00

開催場所：鳴門教育大学 総合学生支援棟
財団からボランティアとして参加

6. モンゴル国との交流（第5次モンゴル国交流訪問団）

2018年に始まった、モンゴル国との交流は、交流団の派遣と研修生の受け入れを実施しながら、コロナ禍の2年間は中断しましたが、2023年に「第4次モンゴル国交流訪問団」、2024年度には6月29日～7月3日の日程で、「第5次モンゴル国訪問団」を結成し、モンゴル国を訪れ、今後の交流に向けての具体的な協議を行いました。

訪問期間：2024年6月29日（土）～7月3日（水）

参加人数：財団から参加4名（理事2名・職員2名）（全体13名）



ウランバートル市街にあるゾリグ財団の事務所



ゾリグ財団とネットワークの協議

7. ヒロシマ被爆アオギリⅡ世平和祈念植樹を通じた平和への取り組み

2022年2月、ロシアによるウクライナ侵攻と時を同じくして、当財団を含む県内の11団体とともに「ヒロシマ被爆アオギリⅡ世平和祈念植樹写真展徳島実行委員会」を立ち上げ、写真集の企画、編集、出版、配布などを通じて「平和をテーマ」にした活動に取り組み、一定の成果をあげました。2023年末、実行委員会は一定の役割を終えたとし、「ヒロシマ被爆アオギリⅡ世平和祈念植樹徳島連絡会」に改組（事務局は当財団）しました。

2025年1月には、第1回連絡会を開催し、

戦後・被爆80年の節目の年にあたり、

- ① 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准と第3回締約国会議への参加を強く求める。
- ② 三好市・小松島市議会での核兵器禁止条約批准を求める決議採択を目指す。
- ③ 核兵器をなくす国際市民フォーラム参加と第3回締約国会議へ県民代表を派遣する。
- ④ 平和祈念植樹や写真パネル展を開催し、「徳島県平和の日」県条例制定を目指す。
- ⑤ 日本被団協代表を講師に招き、核兵器禁止条約に関する講演会を開催する。

の5つについて確認しました。（「連絡会アピール」より）

現在、①については活動を継続中。②については2025年3月には三好市議会、小松島市議会とともに採択が実現。③については2月8日、9日東京で行われた国際市民フォーラムへ有志での参加が実現したものの、ニューヨークでの締約国会議への県民代表派遣は、実現に至りませんでした。④については、当財団が、平和をめざす団体・個人で構成された「とくしまピースネット80」の呼びかけ団体のひとつとして、7月4日の「徳島県平和の日」条例制定、「徳島大空襲資料館（仮称）の整備」などの実現に向け取り組みを進めています。⑤に関しては、戦後80年の今後の連絡会の活動の中で取り組みを進めます。

2024年度 実績（今回の活動で実現したこと）

- 県内施設の平和祈念植樹…1箇所（阿南市那賀川町黒地文化センター）
- 「自治体議会による核兵器禁止条約への調印（署名）・批准・参加を日本政府に求める意見書決議」について、2024年の行動で小松島市・三好市で決議を実現
- 徳島市立小学校高学年（5・6年生）に折パンフを送付
- 写真パネル展の実施…2箇所（賀川豊彦記念館・自治会館）



とくしまピースネット80 ホームページへ



2025.1.22 アオギリ平和祈念植樹（那賀川町）

I . 中小企業サポート事業



あわ～ず徳島（徳島勤労者福祉サービスセンター）

1. 加入事業所・会員数の増加に向けて

『あわ～ず徳島アップデート基本構想』で、2026 年度末での会員 2 万人達成を目標としていましたが、コロナ禍後に回復するかと思われた景気は、円安・物価高騰の影響に加え、インボイス制度、電子帳簿保存法の開始等で中小企業の事務担当者は多忙を極め、あわ～ず徳島の加入促進は困難を極めています。

昨今の人手不足があわ～ず徳島の需要を喚起するかと思いましたが、徳島ショックと称された、最低賃金の大幅改正は、中小企業の経営にとっては逆風となり、あわ～ずの会員拡大にとっても状況は悪化し、「2026 年末でに会員 2 万人達成」の目標は大きく下方修正を余儀なくされました。

2025 年度は、加入促進の方法の見直しを本格化させるとともに、サービスのデジタル化、スマホアプリのソフト開発、SNS やホームページの活用による広報体制の強化で加入促進に努めます。

【事業所数・会員数】2024 年度

2024 年度		4 月末	5 月末	6 月末	7 月末	8 月末	9 月末
事業所数	入会	3	4	9	3	4	3
	退会	8	9	5	4	3	1
	増減	▲ 5	▲ 5	4	▲ 1	1	2
	合計	1,124	1,119	1,123	1,122	1,123	1,125
会員数	入会	573	228	231	134	123	101
	退会	207	155	97	163	124	120
	増減	366	73	134	▲ 29	▲ 1	▲ 19
	合計	16,168	16,241	16,375	16,346	16,345	16,326

2024 年度		10 月末	11 月末	12 月末	1 月末	2 月末	3 月末	合計
事業所数	入会	6	3	2	1	4	6	48
	退会	3	7	2	6	2	8	58
	増減	3	▲ 4	0	▲ 5	2	▲ 2	-10
	合計	1,128	1,124	1,124	1,119	1,121	1,119	
会員数	入会	197	120	92	96	76	227	2,198
	退会	100	187	127	177	90	658	2,205
	増減	97	▲ 67	▲ 35	▲ 81	▲ 14	▲ 431	-7
	合計	16,423	16,356	16,321	16,240	16,226	15,795	

2. 県内市町村長からのご挨拶掲載の取り組み

県内市町村長からのご挨拶掲載の取り組みは、2024年12・1月号から、これまでの、定型文中心の少し硬めの首長挨拶から、**首長の個性や気やすさが表現できるような、読者目線の構成へと、リニューアルしました。**

会報誌 6・7月号……………阿南市	岩佐 義弘 市長
三好市	高井 美穂 市長
会報誌 8・9月号……………徳島市	遠藤 彰良 市長
会報誌 10・11月号……………海陽町	三浦 茂貴 町長
板野町	玉井 孝治 町長
会報誌 12・1月号……………鳴門市	泉 理彦 市長
吉野川市	原井 敬 市長
会報誌 2・3月号……………美馬市	加美 一成 市長
北島町	古川 保博 町長



3. 「第2回徳島勤労者福祉サービスセンター市町村連絡会」開催

と き：2024年8月22日(木)13:30～

ところ：労働福祉会館502会議室

出席：県内市町村の担当者18名

「第2回徳島勤労者福祉サービスセンター市町村連絡会」では、「あわ～ず徳島アップデート基本構想」の中間報告を基に、**コロナ禍後のあわ～ず徳島の取り組み、市町村の取り組みを共有し、あわ～ず徳島の拡大を軸とした、地域活性化に向けた意見交換**がなされました。

連絡会では、**深刻な人口減少、労働力不足の現状、地域活性化に向けた取り組みなどを共有し、各自治体がどのようにあわ～ず徳島を活用し、それぞれの地域課題解決に向けた連携をしていくのかを探りました。**



4. 産前産後・育児休業期間中の会費を全額キャッシュバック（補助）する

制度のスタート（2024年4月～）

これまでの、従業員が育児休業等の長期休業を取得した場合、**対象会員を一度退会させ、職場復帰後、再度会員登録する事業所があります。**そこで、**休業期間中の会費を全額キャッシュバック（補助）**することで、退会することなく、**休業期間中もあわ～ず徳島のサービスを受けていただくことを目的として、制度を2024年度より新設いたしました。**

会員が職場復帰された際には、子育て記念品のプレゼントも実施しています。

実績（2025年5月19日現在）

申し込み 152名

補助（支給）32名



5. 「地域活性化」へ向けた取り組み

(1) とくしまのちょっとええもんつたえ隊 ～地元のお宝大発見～

24 市町村、観光協会等と連携し、**地元とくしまの魅力をあらためて共有**することで、地域活性化の一助になればという想いで企画し、会報誌に掲載しています。6・7月号からは

会報誌4・5月号・・・勝浦町、北島町

会報誌6・7月号・・・那賀町、佐那河内村、JA 全農とくしま

会報誌8・9月号・・・美波町、海陽町、JA 徳島県

会報誌10・11月号・・・松茂町、JA 里浦

会報誌12・1月号・・・徳島市、JA 徳島市

会報誌2・3月号・・・三好市、東みよし町

(2) SNS を活用したの短編動画配信 (TikTok・YouTube・Instagram)

2023 年 12 月に TikTok からスタートした短編動画ですが、現在はユーチューブ、インスタグラムでも配信しています。あわ～ずのイベント報告や案内に加え、**地域活性化を目的**とした、SNS 版「ちょっとええもん…」とも言える、市町村や観光協会と連携しながら、短編動画を配信しています。特に今年 2 月に配信した「**健康とふれあいの森**」の動画は、**54,000 回 (5/16 現在) 再生、931 「いいね」**され、人気のコンテンツとなっています。

阿波市「パンケーキうどん」(2024.2/29 配信)

美波町「グルメスポット」等 (2024.6/28 配信)

佐那河内村「あじさい」(2024.9/19 配信)

阿南市「お好み焼きアート」等 (2024.10/25 配信)

阿南市「鱧皮ちくわの製造工程」等 (2024.11/6 配信)

小松島市「金長神社・あいさい広場」等 (2025.2/4 配信)

三好市「健康とふれあいの森」等 (2025.2/26 配信)

つるぎ町「土釜・つるぎ町 RPG 紹介」等 (2025.5/8 配信)

「健康とふれあいの森」の動画が見られます。
※ TikTok アプリのダウンロードが必要です。



5.4 万回再生の動画

6. 日帰りバスツアーの実施と「とくとく券」サービスの充実化

日帰りツアーは、**ほぼ満席で催行**、参加者からは、「楽しい 1 日になった！」と多くの喜びの声をいただいています。

《バスツアー（新規）》

- ・高知 高知日曜市
- ・岡山 三井アウトレットパーク倉敷と美観地区

《とくとく券特別企画（新規）》

- ・ 6 月 7 月 東寺弘法市と京の台所錦市場バスツアー
- ・ 8 月 9 月 那賀町 山宿花瀬庵「1 泊 2 食付き観光プラン」

- ・ 8月 9月 海陽町 海洋自然博物館マリンジャム「SUP 体験」
- ・ 10月 11月 徳島市 ザ・パシフィックハーバー「ハーバーコース」
- ・ 12月 1月 徳島市 dgd「焼き菓子セット」「総菜&スイーツ」
- ・ 12月 1月 三好市 健康とふれあいの森「バンガロー利用紅葉温泉入浴付き」
- ・ 2月 3月 徳島市 眉山海月「天空プレミアムbuffet + 入浴付きプラン」

7. 家族向けリクリエーションの開催

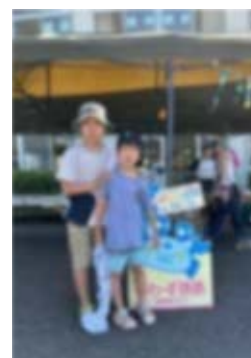
(1) 『地引網体験と海岸クリーンアップ』開催

と き：2024年7月7日（日） 9:30～13:00

ところ：中林漁港（阿南市中林町蛭子浜 1 番地）

参加者：110名

例年大好評の大人気イベント「地引き網体験」を今年も開催しました。今年の開催日は「七夕」ということで、事務局側で七夕セットを準備、参加者の皆さんに、それぞれの願いごとを短冊に書いていただきました。



(2) 第1回あわ～ず徳島ゲーム大会「GoGo あわ～ず Cup」の開催

と き：2025年1月19日（日） 10:30～16:00

ところ：徳島県教育会館 5 階ホール（徳島市北田宮 1 丁目 8-68）

参加者：100名

初めての試みとなった、あわ～ず徳島のゲーム大会には、多くの会員とご家族が参加しました。メイン大会の他、様々なゲームタイトルを体験できるブースを用意し、子どもたちが楽しみました。大会は実況、解説付きで、YouTube でも生配信、会場では大スクリーンで観戦することができました。しかし、途中インターネット回線のトラブルが続き、大会進行が大幅に遅れ、参加者にご迷惑をおかけする結果となっていました。そのよう中でも、大会後のアンケートでは、励ましや、次回の開催を熱望する子どもたちの声に、この経験を活かし、第2回大会へ繋げたいと考えています。



8. 中小企業事業主・従業員向けの各種研修・セミナーの開催

(1) 新入職員ビジネスマナー研修

と き：2024年4月18日（木） 14:00～16:00

ところ：ふれあい健康館 第2会議室

講師：福永 由里子 氏

参加者：20名

電話対応や言葉づかいなどを教わる若い参加者の眼差しは真剣そのもので、納得のセミナー内容に、何人もの参加者から意見や質問が寄せられるなど、とても活発なセミナーとなりました。「マナーは他人のためではなく、回り回って自分に返ってくるものだから…」と、色彩心理も交えたセミナーは、優しさとあたたかさ、笑顔にあふれました。

(2) Life ending support Seminar ～自分らしい最期を迎えるために～はじめての終活

と き：2024年10月2日（水）13:30～15:00

ところ：アスティとくしま 第1会議室

講 師：岡 正伸氏（NPO 法人アライブラボ理事長）

清瀬 由香氏（NPO 法人アライブラボ理事）

参加者：20名

あわ～ず徳島として初めての試みとなる「終活セミナー」を開催しました。終活の基本的な内容から具体的な手続きに至るまで、幅広いテーマで、具体事例を交えてわかりやすくご講演いただきました。後半は、対話形式のワークショップで、参加者の抱える現在の課題や疑問点などを共有しました。

セミナーを終えた参加者からは、「知っているようで知らないことを詳しく聞けて良かった」「家族とどのように話し合いを進めていけばよいか、ヒントになった」など前向きな感想をいただきました。

9. あわ～ず徳島デジタル化の取り組み

全会員が平等にサービスを受けられるよう配慮しながら、時代の流れに遅れないよう、一歩ずつサービスのデジタル化を進めています。

(1) 電子申請への取り組み

あわ～ず徳島の各種申請はこれまで、手書きの申請書類をファックスで送っていただくなど、事務担当者にはとても煩わしい作業でした。共済給付の部分は、元の共済組合の仕組みがデジタル化されていないため、まだまだ電子申請への取り組みは道半ばですが、申請書類がダウンロードできたり、直接書き込める PDF を取り入れたりと徐々に進めています。



(2) いよいよサービスのアプリ化へ向けスタート

2024 年 10 月、日本総研の取材をきっかけに、専門家との勉強会をスタート。通算 7 回（2025 年 5 月現在）にわたる勉強会で、アプリ化への具体策が見えてまいりました。2025 年 5 月に開催した「第 5 回自立化対策会議」で、議題として協議され、**来年 4 月リリースを目標に、アプリ化を進めること**となりました。（「スマホアプリ導入による会員証のデジタル化 経過報告」をご参照）

10. 補助金、共済の前年度比較

(1) 補助金給付状況（件数） 昨年同時期比較

	2024 年 3 月末時点	2025 年 3 月末時点	前年比
健康診断補助	9,015	9,296	103%
インフルエンザ接種補助	4,097	4,182	102%
マラソン大会参加補助	32	94	313%
スキルアップ・スポーツ教室利用補助	642	758	118%
宿泊補助	1,538	1,707	110%

(2) 慶弔共済給付状況（件数） 昨年同時期比較

	2024 年 3 月末時点	2025 年 3 月末時点	前年比
慶弔共済給付	2,376	2,356	99%

12. 中小企業退職金共済制度・小規模企業共済制度の普及・推進活動

(1) 中小企業退職金共済制度

2024 年度も委託団体として、普及・推進に努め、新規契約 2 事業所、5 名追加契約 6 事業所 25 名となっています。

(2) 小規模企業共済制度

2024 年度も委託団体として、普及・推進に努めました。

13. 福利厚生受託事業（県職連合バスツアー実施報告）

(1) 2024 年 7 月 27 日（土）～ 28 日（日）

ナガシマスパーランドと伊勢神宮（1 泊 2 日）

バス 1 台 参加者 30 名

(2) 2024 年 11 月 23 日（土）

京都タワー見学と自由散策ツアー

バス 5 台 参加者 206 名

(3) 2025 年 3 月 29 日（土）

京都タワー見学と自由散策ツアー

バス 5 台 参加者 170 名



Ⅱ．子育てサポート（公益目的事業）



本格的にこども政策が推進される中、各自治体におけるこども家庭センターの機能が強化され、多様な支援メニューとの連携が進んでいます。2024年度においては、ファミリー・サポート・センターの利用支援が各地で拡大し、依頼会員・提供会員への補助が広がりを見せましたが、地域間における格差も顕在化してまいりました。

2025年度においては、民間資源および地域資源との一層の連携を図り、一体的な支援体制の構築を重点的に進めてまいります。これにより、すべての子どもたちが取り残されることなく、社会の構成員として持続可能な社会の実現に主体的に参画できるよう、包括的な支援をめざします。

1. ファミリー・サポート・センター事業



ファミリー・サポート・センター事業は子ども・子育て支援新制度の推進のうちの①教育・保育、地域の子ども・子育て支援の充実「地域子ども・子育て支援事業」の事業の一つとして掲げられており、こども家庭庁創設後も変わりなく推進されています。

また本事業は、提供会員と依頼会員の相互援助活動が基本であり、そのマッチング業務では、提供会員と依頼会員両方の希望を聞き、できる限り希望に沿った組み合わせに努めています。しかし**実働できる提供会員の絶対数は少なく**、ファミサポ共通の悩みでもあります。そこで、提供活動に自信を持って活動できるよう、託児体験や講習会、研修会を計画、実施しました。特に、「こどもが生まれたらファミサポへ」というメッセージが地域社会に浸透するよう、集中的な広報活動を展開してきました。

また、ファミサポ利用補助が開始され、**依頼会員の利用補助に加えて、提供会員への活動報酬も引き上げられました**。この結果、活動依頼件数は増加傾向にあります。依然として提供会員数は需要に対して十分とは言えない状況です。下記表は会員数と活動件数ですが、**8つのファミサポを合わせて10,441人、活動件数は年間10,914件**です。

会員数

	徳島	板野東部	阿南	鳴門	美馬	かいよう	阿波市	吉野川市	合計
提供会員	1,045	641	557	792	341	114	468	57	4,922
依頼会員	2,510	1,548	995	406	509	156	287	266	5,770
両方会員	207	109	88	56	50	26	34	8	578
合 計	3,762	2,298	1,640	1,254	900	296	789	331	11,270

活動件数

	徳島	板野東部	阿南	鳴門	美馬	かいよう	阿波市	吉野川市	合計
提供会員	11,669	2,114	1,568	810	446	390	101	344	16,808

土日祝祭日の登録会・マッチング業務

・美馬ファミサポ、かいようファミサポ、阿波市ファミサポ、吉野川市ファミサポで実施

(1) 各ファミサポの活動

● 徳島ファミリー・サポート・センター

2024年度は「各市町村のイベントに積極的に参加し、入会登録の勧誘を推進する」を目標に活動を行ってまいりました。会員の獲得には苦戦したものの、ファミサポの認知度向上については一定の成果を上げることができました。地域でのイベント参加を通じて、ファミサポの役割や活動内容を多くの方に知っていただく機会となり、周知活動の重要性を再確認した一年となりました。

また、2024年1月1日より市町村のファミサポ利用補助制度が開始されたことで、入会登録数および活動依頼が急増しております。これに伴い、今後はさらに多くの提供会員の確保に向けて、積極的な勧誘活動を行ってまいります。

今後も、利用会員・提供会員の双方に寄り添い、安心して活動が行える環境を整え、地域全体で支え合う子育て支援の充実を目指して取り組んでまいります。



2024.7.12 なつまつり (1)



2024.7.12 なつまつり (2)



2024.11.8 E会員研修



2024.12.23 クリスマス



2025.3.13 茶話会



2025.3.27 子育て相談会

● 板野東部ファミリー・サポート・センター

2024年4月より板野郡内5町から、提供会員に対して利用補助が始まりました（松茂町のみ、償還払いで依頼会員にも補助あり）。提供会員の獲得につなげられるように今後も周知を図ってまいります。

また、従来のファミサポよっといDay!!に加え、5町の支援センター等に赴いての広報活動に力を入れ、ファミサポの知名度向上と、依頼、両方会員の獲得につなげてまいります。

さらに2025年度は、松茂町からの委託を受け松茂町訪問支援事業がはじまります。5月の講習会に地域リーダーや松茂町の提供会員が受講します。どの程度の需要があるかなど、未知数ではありますが、こども家庭センターと情報共有しながら地域の家庭を支え、寄り添う支援ができるよう努めてまいります。



2024.5.23 グラスアート



2024.7.12 研修みそづくり



2024.7.29 夏休み企画防災



2024.11.23 芋ほり交流会



2024.12.13 パステルアート



2024.12.21 クリスマス交流会

● 阿南ファミリー・サポート・センター

2024年6月、**20周年記念交流会**を開催しました。当日は、依頼、提供両会員の援助活動の事例発表に続き、徳島製粉（株）のご協力のもと、「金ちゃんヌードルづくり体験」や「エコバッグづくり」、「リユース品プレゼント」などをおこない、会場はたくさんの子どもの笑顔であふれました。

また、念願であった**ファミサポ利用料金補助制度が10月から開始**され、サポートを受ける方々の利用が大きく後押しされました。これに伴い、サポートを提供したいという問い合わせも増加し、ファミサポの認知度向上にもつながっています。

さらに、子ども用品リユースコーナー「おゆすりタウン」では、毎月60組ほど来所。中には、妊娠中のご夫婦が訪れ、会員登録を希望されるケースも増えてきており、地域のニーズを実感する場となっています。

近年、時代の流れとともに**依頼内容が多様化**しており、**キッズスペースでの託児や依頼会員宅での預かりなどの希望が増えています**。また、3月には企業へ出向き会員登録会を実施し、ファミサポの広報や登録につながりました。

今後の地域リーダーのご協力をいただきながら、地域の実情に寄り添った子育て支援をより一層推進してまいります。



2024.5.8 子育て相談会



2024.6.29 20周年記念交流会



2024.10.13 健康まつり



2024.10.25 ハロウィン交流会



2024.12.11 クリスマス交流会



2025.2.12 防災クッキング

● 鳴門ファミリー・サポート・センター

2024年度は、**10月から新たに県のファミサポ利用料金補助初回利用制度が始まりました**。多い月では7名ほどの依頼会員に利用がありました。会員数は昨年に比べて、提供会員の入会はそれほど多くはない状況です。**ますます増えてきている多様な依頼**に対応できるよう、

提供会員を増やす努力をしてまいります。

交流会では、毎月の「ぶっく BOOK たいむ」に加え、昨年好評であった「交流 café わたぼうし」を引き続き開催し、**会員同士の情報交換ができる機会**をもちたいと思っています。今年度も会員のみなさんに寄り添った支援ができるよう努めてまいります。

そのほか、**徳島県ヤングケアラー支援体制強化事業に係る家事等訪問支援モデル事業所として登録**させていただきました。今年度の利用はありませんでしたが、多様な家族のニーズにも対応していけるよう努めてまいります。



2024.5.18 リフレッシュヨガ



2024.6.5 音育遊び



2024.9.11 安全講習



2024.10.30 ハロウィン



2024.12.11 クリスマス会



2025.3.5 交流 Café わたぼうし



2025.3.21 ぶっく BOOK たいむ



2025.2.28_ 鳴門 fsc_ 子育て相談会

● 美馬ファミリー・サポート・センター

行政による**利用補助交付金の制度が開始**されたことにより、当事業の継続的な活動が実現しています。特に、長時間にわたる兄弟の託児利用の増加や、日々の送迎支援活動の実施が顕著となっており、長時間における拠点内での託児対応については、提供会員を二名体制とする、もしくは時間を分割して交代で対応するなど、**会員の負担軽減を図りつつ、協力体制を構築**しています。このような取り組みにより、提供会員同士の関係性が深まり、**連絡体制の強化や新たなつながりの創出**といった**相乗効果**が生まれています。

加えて、**初回2時間無料補助制度の広報活動**にも注力しており、本制度の認知度向上を通じて、ファミリー・サポート・センター事業の利用促進および活動件数の増加に繋げるべく、継続的に取り組んでまいります。



2024.4.21 Mama Cafe



2024.6.12 リユース会



2024.9.3 ハーバリウム作り



2024.12.1 出張託児『きらり』



2024.12.7 クリスマス会



2025.2.18 押し花ワークショップ

● 阿波市ファミリー・サポート・センター

2024 年度より、**提供会員への利用補助制度**、さらに**依頼会員への初回利用無料補助**が新たにスタートしました。これに伴い、ファミサポ事業の周知を一層強化するため、新たなチラシの作成を行い、乳幼児健診や公民館活動、各種イベントへの参加を通じて積極的に広報活動を展開しました。

また、**阿波市内の子育て支援センターとの交流**を深めることで、子ども園の子育て支援センター内で広報活動を行い、登録者の増加にもつなげることができました。今後も、より多くの地域へ足を運び、ファミサポの認知拡大と利用促進を図ってまいります。

さらに、**2025 年度は阿波市ファミサポ 15 周年を迎える節目の年**です。これを記念し、提供会員や両方会員に呼びかけ、「**ファミサポ提供会員・両方会員同窓会**」や、**あおぞらとの共催による記念イベント**を企画しています。チラシやケーブルテレビを活用して広報を行い、より多くの人に参加いただき、ファミサポ活動について理解を深めていただける機会としたいと考えています。

今後も地域に根ざした活動を通じて、子育て家庭を支えるファミサポの役割をより強固なものにし、安心して利用いただける体制づくりに努めてまいります。



2024.11.16 秋の散歩



2024.11.22 さつまいもほり



2024.12.14 クリスマス会



2025.1.22 抱っこ紐研修会



2025.2.13 チョコレート作り

● かいようファミリー・サポート・センター

2024 年度は、「利用料金補助制度」が浸透してきたこともあり、昨年度より活動件数が倍増しました。また、病児・病後児預かりサポートも毎月活動依頼があり、「ファミサポのおかげで仕事ができます」という声も聞かれています。さらに 2024 年度より、様々な家庭事情でファミサポを利用したい家庭は町へ申請すると中学生のファミサポ利用も可能となり、数件利用がありました。ただ、それに伴い提供会員不足が問題となっております。

2025 年度は、町広報への掲載や関係機関の会議で声かけ、地域のつながりを活用して一人一人へ積極的に声掛けするなど、提供会員の確保に取り組んでまいります。また、拠点での預かりは依頼会員・提供会員ともに利用がしやすいとの声も聞かれています。よって、拠点が休所の場合も対応できる、地域の預かり場所の確保へ向けて、町へ働きかけを行ってまいります。



2024.5.26 出張登録会・リユース会



2024.6.25 会員講習会「AED 講習」



2024.7.2 研修会「韓国家庭料理教室」



2024.8.4 交流会「夏のお楽しみ会」



2024.12.22 交流会「クリスマス会」



2025.2.25 研修会「こころとからだのストレッチ」

● 吉野川市ファミリー・サポート・センター

2024 年度は、依頼・提供会員ともに 1 時間あたり 200 円の利用補助が開始されました。これにより、ファミサポを利用したい方のマッチングや活動が増加しました。

これに伴い、様々な家庭の背景により、色々な活動の要望も増えてきました。双方の会員の希望に応える事の出来る仕組み作りを考えるとともに提供会員増員にも邁進してまいります。また、地域の方の協力があり、子育てに関する相談会（発達）や幼児安全法の研修なども開催できました。

2025 年度も「地域で子育て支援」をしていく体制を基盤として、地域に根差すファミサポを目指します。



2024.5.11 母の日フラワーアレンジメント



2024.6.17 アンガーマネジメント講座



2024.7.28 夏休みポスター作り



2024.8.10 ファミサポ講習会



2025.1.17 親子で救命法を学ぼう



2025.1.25 味噌だま作り

(2) 交流イベントの開催

会員同士の交流や親子の交流、情報交換の場として交流イベントを開催します。交流イベントを通じて、**ファミサポの重要性**を周知しながら会員拡大に繋がりました。

●「あい♥あいファミサポフェスティバル」の開催

2024 年は企画コンペ最優秀賞に選ばれた『防災運動会 in あいあいファミサポ』を実施しました。各プログラムでは防災にちなんだ障害物競走や防災クイズなどを行い、防災アンケートや YURETA マットを使った体験や VR 体験、防災食の試食コーナーを設け、防災知識の向上に寄与し、夏休みの親子イベントとしてたくさんの方に楽しんでいただきました。

日 時：2024 年 8 月 24 日（土）

午前の部 10:00 ～ 11:30 午後の部 13:30 ～ 15:00

場 所：ろうきんホール

内 容：防災運動会

来場者：約 251 人



防災運動会



YURETA 体験コーナー



YURETA マット



VR 体験コーナー

● 各ファミサポでの交流イベント

FSC(設置順)	月日	ぶっく BOOK たいむ	開催場所	参加人数
徳島 FSC	7/12	なつまつり 登録会	ふれあい健康館 きっかけ空間	親子 30 組
	12/14	クリスマス会登録会	ヒューマンわーくびあ	親子 50 組
板野東部 FSC	5/23	ファミサポよっとい Day !! はじめてのグラスアート	藍住町勤労女性センター	17 名
	9/9	ファミサポよっとい Day !! ボタニカルア ロマコロンづくり	北島町役場研修室	15 名
	11/20	ファミサポよっとい Day !! はじめてのピ ラティス	上板町中央公民館和室	15 名
	11/23	芋ほり交流会	松茂町試験農場	親子 230 名
	12/13	ファミサポよっとい Day !! パステルアート体験	板野町町民センター	9 名
	12/21	クリスマス交流会 クリスマスコンサート	藍住町勤労女性センター	親子 92 名
	1/15	ファミサポよっとい Day !! ヤクルト健康教室	松茂町総合会館和室	14 名
阿南 FSC	5/22	ウエルカム阿南交流会	阿南ひまわり会館	19 名
	7/17			13 名
	9/25			10 名
	11/27			16 名
	1/29			12 名
	3/19			22 名
	6/29	阿南ファミサポ 20 周年記念交流会	阿南ひまわり会館	169 名
	10/25	あなんっこあつまれ! ~ハロウィン~	阿南駅周辺	38 名
	11/9	あなんまちマルシェ	阿南市役所	100 名
	12/11	クリスマス交流会	阿南ひまわり会館	40 名
	2/19	あかもち分析交流会	阿南ひまわり会館	11 組
鳴門 FSC	4/25	ぶっく BOOK たいむ	鳴門ふれあい健康館	15 名
	5/30			24 名
	6/27			16 名
	7/25			29 名
	8/22			19 名
	9/26			18 名
	10/30	ハロウィン交流会		28 名
	11/29	ぶっく BOOK たいむ		19 名
	12/11	ミニクリスマス交流会		40 名
	1/29	ぶっく BOOK たいむ		27 名

鳴門 FSC	2/28	ぶっく BOOK たいむ	鳴門ふれあい健康館	26 名
	3/21			29 名
美馬 FSC	7/29	フォトフレーム作り	美馬町寺町防災センター	10 名
	8/27	おしゃべり会→台風の為キャンセル	美馬市子育て支援センターみらい	0 名
	10/30	ハロウィンパレード	美馬市地域交流センターみらい	34 名
	12/7	クリスマス会	つるぎ町就業改善センター	85 名
阿波市 FSC	6/1	さつまいも苗植え	阿波町伊沢地区農園	16 名
	8/3	むすびまつり	阿波市あわむすび	177 名
	11/16	秋の散歩・さつまいも堀り	阿波市妖精の村・ツリーチャイムの森、伊沢地区農園	21 名
	12/14	クリスマス会	阿波子育て支援センターあおぞら	62 名
かいよう FSC	5/26	出張登録 & リユース会 @ ええとこどりフェスタ	ピクニック公園	100 名
	8/4	夏のお楽しみ会	まぜのおかオートキャンプ場	120 名
	11/3	出張登録&リユース会@海陽町商工業祭	海南文化村	100 名
	12/22	クリスマス会	海陽町役場海南庁舎	141 名
吉野川市 FSC	10/30	ハロウィンファッションショー	ちびっこプラザ	大人 26 名 子ども 26 名
	12/20	クリスマス会	ちびっこプラザ	大人 24 名 子ども 24 名
	1/25	味噌玉づくり	日本フネン市民プラザ（調理室）	大人 10 名 子ども 2 名
吉野川市 FSC	10/30	ハロウィンファッションショー	ちびっこプラザ	大人 25 名 子ども 25 名
	12/18	クリスマス会	ちびっこプラザ	大人 25 名 子ども 25 名
	3/2	ひなまつりデコ巻き寿司づくり	上浦公民館	大人 5 名 子ども 10 名

(3) 子育て相談会

子育て中の保護者や関係者を対象に、日ごろの悩みなど自由に交流・相談できる子育て相談会を開催します。また、**オンライン相談や相談サイトを立ち上げ**、子育て世帯のサポートに努めています。

● 各ファミサポでの子育て相談会

FSC(設置順)	月日	開催内容	講師	参加人数
徳島 FSC	3/13	子育て相談（ほっこり子育てトーク）	小林 友子氏	大人 11 名／子ども 9 名
板野東部 FSC	7/26	日頃の育児の相談	小林 友子氏	中止
阿南 FSC	5/8	子育て相談会（絵本）	お話のポケット	16 名
鳴門 FSC	2/28	子育て相談（おなか元気教室）	ヤクルト庄野知恵氏	大人 8 名／子ども 9 名

美馬 FSC	4/21	おしゃべり会 (mama café)	浪越 あゆみ氏 石田 勝紀氏	13 名
	7/29	フォトフレーム作り	美馬町寺町防災交流センター	6 名
	9/20	子育てサポートミニ講座	藤井 加代子 (アイリス) 東野 紀美 (ハジメキ)	4 名
阿波市 FSC	6/20	ちょっと気になる子育て相談	中川 理江氏	7 名
吉野川市 FSC	2/16	子育て相談 (発達)	伊澤 みどり 氏	大人 3 名 子ども 5 名

(4) 会員講習会

安心して子育てサポートを提供できるように、必要な技術や知識を習得するための講習会を開催しています。全課程 9 項目は徳島市、藍住町、阿南市、阿波市、吉野川市で開催、残る地区についてはオンラインでの講習を実施しました。

また、救急救命においては、サポートする上では必須となるため、各ファミサポにおいて適宜実施しました。

日程	ファミサポ	修了者数	延べ人数
6/3 ~ 6/24	板野東部ファミサポ (会場は藍住町)	13 名	274 名
8/3 ~ 9/7	吉野川市ファミサポ	10 名	189 名
9/5 ~ 9/25	阿南ファミサポ	7 名	116 名
11/5 ~ 11/20	美馬ファミサポ	7 名	118 名
1/7 ~ 1/17	徳島ファミサポ	15 名	164 名

(5) 両方・提供会員研修会

両方会員、提供会員の会員獲得また交流や研修を兼ねて会員研修会を開催しています。各ファミサポではそれぞれ工夫を凝らした研修会を開催しました。

FSC(設置順)	月日	開催内容	開催場所	参加人数
徳島 FSC	11/13 (水)	茶話会「ハピサポ」	わーくびあ徳島 4F	17 名
	3/5 (水)	茶話会「ハピサポ」	わーくびあ徳島 4F	15 名
板野東部 FSC	7/12 (金)	研修手作りお味噌	松茂町カドヤキッチン	18 名
	7/29 (月)	夏休み企画 今すぐできる防災について	藍住町勤労女性センター	大人 14 名 こども 4 名
阿南 FSC	5/17	水ギョーザづくり	阿南ひまわり会館	9 名
	10/23	万能タレをつくろう		7 名
	2/12	防災クッキング		8 名
鳴門 FSC	5/18	リフレッシュヨガ	鳴門ふれあい健康館	15 名
	6/8	音育遊び		6 名
	9/11	安全講習		7 名

美馬 FSC	5/27	藍染め体験	穴吹農村環境改善センター	34 名
	9/3	ハーバリウム作り	美馬市子育て支援センターみらい	11 名
	2/18	押し花ワークショップ	つるぎ町就業改善センター	12 名
かいよう FSC	7/20	書道教室	阿波子育て支援センターあおぞら	7 名
	9/12	フラワーアレンジメント	土成公民館	7 名
	1/22	抱っこ紐の使い方	大俣公民館	10 名
	2/13	チョコレート作り	阿波子育て支援センターあおぞら	10 名
吉野川市 FSC	5/11	母の日フラワーアレンジメント	ちびっこプラザ	大人9名 子ども1名
	6/17	アングーマネジメント講座		大人8名 子ども8名
	7/28	夏休みポスター作り		大人6名 子ども9名

(6) ファミサポ機能強化事業の対応

今、ファミサポでは、**病児・病後児預かり事業**を始め、様々な**困難を抱える子どもや家庭に対応できることが求められ、サポートもより複雑また多様化**しています。妊娠・出産から様々な困難要因を抱えるこどもや家庭に対してサポートできるよう**アドバイザー等のレベルアップ**に努めました。

病児・病後児預かり業務においては、**2023 年度より徳島ファミサポ・板野東部ファミサポで再開し、かいようファミサポと合わせて3カ所で実施**しています。病児病後児預かり依頼登録者数も伸びており、保護者のニーズが高まっていることがわかります。この機会に**残る10ファミサポ（11市町村）でも病児・病後児預かり業務の実施に向けて働きかけ**を行ってまいります。

① ネットワーク連絡会

ファミサポ担当行政と担当者が一堂に会し、研修を通じて互いの状況の報告や今後の方針等を協議します。2024 年度は 2 回実施しました。

■ 第 1 回

日 時：2024 年 7 月 10 日（水）10：00～12：00

場 所：わーくびあ徳島 5F502 会議室

参加者：徳島県子育て応援課 市町村担当者 ファミサポアドバイザー 計 40 名

内 容：事例発表・報告・意見交換

■ 第 2 回

日 時：2025 年 2 月 20 日（木）10：00～11：30

場 所：わーくびあ徳島 5 F 502 会議室

参加者：徳島県子育て応援課 市町村担当者 ファミサポアドバイザー 計 36 名

内 容：報告事例 発表 意見交換

② 病児・病後児預かり等に向けて

病児・病後児預かりに関する会議を実施し、基本的な考え方等を再確認しました。

基本的な考え方

- ・「子どもの利益や健康」を第一に考える。
 - ・センターは、預かりを行う提供会員のフォローを必ず行う。
 - ・関係機関や関係者の相互理解や連携をする。
- 以上のこと等を確認し、研修会や医療機関との連携を図っています。

■ 医療機関との連携

田山チャイルドクリニック田山院長に医療アドバイザー再任を依頼し、協力を得ています。

■ 病児・病後児預かり研修会の開催

	開催日程	場所	受講者人数	修了者
第1回	7月4・11日	北島町	45名	5名
第2回	12月10・13日	美馬市	15名	5名
第3回	2月4日・7日	徳島市	21名	10名
合 計			81名	20名

対象者：病児・病後児預かりに理解のある会員

受講者数：のべ81名 修了者数：20名

■ カリキュラム

科目	時間数	講師
病児・病後児を利用する子どもの主な症状と対応	120分	医師
病児・病後児保育における感染症対策	90分	医師
リスクマネジメント	60分	看護師
子どもが病気の時の保護者支援	60分	看護師
薬に関する知識	30分	薬剤師
病児・病後児保育における環境整備	60分	病児保育士
病児・病後児の概要	30分	担当者

■ E 会員交流会&研修会

病児・病後児 7.5 時間研修を修了したエクストラ会員(通称 E 会員)を対象に、フォローアップ研修を開催するとともに、**会員間の意見交換交流会**を開催し、スキルアップに努めました。

・徳島ファミサポ

E 会員研修会と交流会

日 程 11月8日

場 所 わーくぴあ徳島 5 階

講 師 JAF 角田 義道 氏

内 容 「安全運転の注意点」

参加者 E 会員 15 人

・板野東部ファミサポ

日 程 2月19日(水)

場 所 藍住町勤労女性センター

内 容 病児病後児預かりサポートの現状について
サポート時のシートベルトの正しい装着について
ヒヤリハット事例についてグループ討議

参加者 E 会員 提供会員 11 名

■ 病児・病後児フォローアップ研修 感染リスクを減らす実践研修

・第1回 板野東部ファミサポ

日 程 10月23日(水)

場 所 藍住町勤労女性センター

講 師 岩城クリニック 坂東裕架理氏

内 容 体調不良児への対応と対処

参加者 新規 E 会員 提供会員 11 名

・第2回徳島ファミサポ

日 程 11月12日(火)

場 所 わーくぴあ徳島 4 階大会議室

講 師 岩城クリニック 坂東裕架理氏

内 容 体調不良児への対応と対処

参加者 新規 E 会員 提供会員 13 名

③ アドバイザー等レベルアップ研修

2024 年度は以下の内容で実施しました。

・第1回 YURETA 体験研修会

日 時：2025 年 1 月 27 日 (月) 13：30～15：30

場 所：アスティとくしま学習室

講 師：NPO 法人減災教育普及協会 理事長 江夏猛史 氏

参加者：市町村担当者 ファミサポアドバイザー 会員・希望者 54 名

・第2回 YURETA 体験研修会

日 時：2025 年 1 月 28 日 (火) 13：00～15：00

場 所：美馬市子育て支援センターみらい

講 師：NPO 法人減災教育普及協会 理事長 江夏猛史 氏
参加者：市町村担当者 ファミサポアドバイザー 会員・希望者 38 名

・第3回 YURETA 体験研修会

日 時：2025 年 1 月 29 日（水）13：30～15：30

場 所：阿南市ひまわり会館

講 師：NPO 法人減災教育普及協会 理事長 江夏猛史 氏

参加者：市町村担当者 ファミサポアドバイザー 会員・希望者 38 名

④ オンライン登録の推進

出産後や出歩けない親のためにオンラインでの登録を進めます。特に徳島ファミサポや板野東部ファミサポのように広域で対応しているファミサポにとっては出張登録をするには物理的に難しい面もあります。Zoom は使い慣れていない方が多く、バージョンアップに伴い頻回に仕様が変更することから課題が残りました。コロナ禍後、対面での登録への抵抗が少なくなったためオンライン対応が遅れましたが、今後も検討を続けます。

⑤ 多様なニーズに対応できる仕組みづくり

現在ファミサポは市町村事業であり、依頼会員は、在住もしくは在勤・在学でなければ利用できず、出張や通院などの預かりについては対応できていません。自宅の近くに預けていくには費用が掛かりすぎる、出張先また通院先の地域で預かってほしいという声が多く聞かれます。そこで、ファミサポ事業での対応を進めるとともに財団独自でも仕組みづくりを検討します。

(7) ファミサポプラス

2024 年度から児童福祉法等の一部が改正の予定で、法律案の概要が出されました。子育て世帯に対する包括的な支援のための体制強化及び事業の拡充をめざしますこととなります。「訪問による家事支援」については、国の方針としても事業化が決定していますが、対象者が限定されています。

しかしながら対象者以外の乳幼児を抱える親に対しての支援も必要であると考えます。そこで、ファミサポの機能を活かしながら産前産後や多胎児、ダブルケア等の家庭に対しても同様の支援ができるよう体制を整え、関係行政に向けて提案を行っていきます。

① ワンストップサービスの構築

「子育ての問題」は様々な問題が幾層にも重なっているのが通常であり、単一の問題を処理したからといって万事解決というわけではなく、総合的なサポートは欠くことができないサービスであると考えます。

そこで、今まで培ったネットワークや知識をデータベース化し可視化する仕組み作りに取り掛かれるよう、各ファミサポが抱える相談事例やヒヤリハット事例などを共有ファイルでの管理を進めています。お互いの情報を共有することで、個々のスキルアップや依頼者への情報発信につながります。

また、県内ファミサポや子育て支援拠点、他の社会資源の情報を収集し、くーぼん丸。ア

プリと連携して情報発信を行いました。

② 他事業との連携によるシナジー効果

■ファミサポ会員特典としての「くーぽん丸。会費割引」

ファミサポ会員に対して、通常 770 円の会費のところ **570 円**で提供しています。
2024 年度はファミサポ会員 126 人の利用がありました。

■あわ～ず徳島会員への利用補助

あわ～ず徳島のサービスの一つとしてファミサポ利用補助があります。2024 年度は、
170 枚（1 枚 400 円）の利用がありました。

③ 子育て・生活困窮者への支援

■ファミサポ利用支援子育て基金

財団では、ファミサポを利用したくても、経済的な理由により利用を控えざるを得ない家庭を支援するために「ファミサポ利用支援子育て基金」があります。**2024 年度は、93,640 円（9 人）の助成**を行いました。**半年間 15,000 円（30 時間）**ときょうだいの全額利用補助に加え、提供会員の交通費に関しても補助が始まり、大幅に利用者の負担が減ることになりました。

また財源確保も必須であり、引き続きファミサポネットワーク連絡会等や SNS 等で広報に努めます。

■ファミサポ利用補助の実施

2024 年 4 月からは板野東部、吉野川市、阿波市、美馬市においてもサービスが開始されました。また 10 月からは阿南市においてもサービスが開始となり、財団の持つ 8 つのファミサポすべての提供会員への利用補助が可能となりました。しかし市町村ごとに補助金額が変動することもあることから、県下全域で同様のサービスができるよう行政当局にも提案を続けます。

・ファミサポ利用促進事業

	助成件数	助成額
阿波市 FSC	73 件	95,350 円
美馬市 FSC	446 件	530,060 円

・徳島 FSC

	助成件数	助成額
依頼会員	11663 件	4,349,925 円
提供会員	11663 件	2,463,900 円
合 計		6,813,825 円

・板野東部 FSC

	助成件数	助成額
提供会員	2,114 件	386,475 円
合計		386,475 円

・阿南 FSC

	助成件数	助成額
依頼会員	941 件	267,300 円
提供会員	941 件	260,775 円
合計		528,075 円

・鳴門 FSC

	助成件数	助成額
依頼会員	810 件	340,725 円
提供会員	810 件	185,025 円
合計		525,750 円

・かいよう FSC

	助成件数	助成額
依頼会員	390 件 (移住 3 年以内 127 件・ひとり親 35 件) 交通費	536,700 円 113,847 円
提供会員	390 件	241,350 円
合計		891,897 円

・吉野川市 FSC

	助成件数	助成額
依頼会員	192 件	57,300 円
提供会員	192 件	57,300 円
合計		114,600 円

・阿波市 FSC

	助成件数	助成額
依頼会員	14 件	19,000 円
提供会員	79 件	49,700 円
合計	93 件	68,700 円

④ 徳島県ヤングケアラー支援体制強化事業

鳴門ファミサポにおいて徳島県ヤングケアラー支援体制強化事業に係る家事等訪問支援モデル事業所として登録されました。ネウボラと常日頃から連携も取れていますが、実際の支援には至りませんでした。今後も行政と連携を図りながら、取り組んでまいります。



2. 地域子育て支援拠点事業

財団では「美馬市子育て支援センターみらい」「海陽町地域子育て支援センターあかね」「阿波子育て支援センターあおぞら」「吉野川市子育て支援センターちびっこプラザ」を、2023年度からは新たに「徳島市親子ふれあいプラザ」の運営が始まりました。

各子育て支援拠点では、そこにファミサポを併設することで、利用者がより気軽にサポートを受けられる環境を整え、相乗効果が望めます。

また、現在運営中の拠点だけでなく、**他の地区にもファミサポ併設の拠点事業の拡大を目指し**、地域の行政機関への働きかけを積極的に行ってまいりました。地域全体で子育てを支えるネットワークを広げ、より多くの家庭が安心して子育てできる社会の実現を目指して、引き続き取り組んでまいります。

(1) 美馬市子育て支援センターみらい

「ふれあい DAY!! ～赤ちゃんと中学生の交流イベント～」、「ペアレントプログラム」、「新米パパママ教室」など、**保健センターとの連携が一層円滑**となり、より良い体制づくりが進んでいます。

昨年度よりイベントの種類を拡充し、利用者の関心に応じた内容の提供に努めています。

本年度4月以降は新たな乳児の来所も見られ、さらに土日祝日の開所により、在園児も利用しやすい環境となっています。

また、年齢層の広がりを踏まえ、危険予測を行いつつ、安全に配慮した玩具や環境の整備を進めています。利用者の視点に立ち、必要とされる支援内容を見極めながら、安心して子育てができる環境づくりおよび情報提供に引き続き取り組んでまいります。



2024.10.30 ハロウィンパレード



2024.11.20 うんどうあそび



2024.12.15 ふれあい DAY!!



2025.1.22 お誕生会



2025.2.3 絵本の読み聞かせ&節分



2025.2.10 ファーストサイン

(2) 海陽町地域子育て支援センターあのね

2024 年度は、母子手帳交付時や健診時に保健師より支援センターの案内をしていただくことで、早い段階で利用登録をしていただくことができました。**イベント時だけでなく通常時にも利用者が増加し、ママ同士で連絡先を交換するなど、つながりを作る機会を提供できた**のではないかと思います。また、県外から来所された方より「ここは手厚いからありがたいです。」といった声も聞かれ、来所人数が少ないからこそ丁寧に関わることができました。近隣町からの利用も増加しており、2025 年度は近隣町とも連携し、健診時に出向いて広報を行っていきます。また、利用者の声に耳を傾けながら、イベント等に工夫を凝らすなど、日々改善に取り組み、より居心地の良い場所づくりを提供していきます。



2024.5.31 ヨガピクニック



2024.6.28 マリンジャム遠足



2024.7.9 製作の日



2024.9.18 音楽ひろば



2024.10.14 あのね 5 周年ハロウィンイベント



2025.1.29 お誕生会

(3) 阿波子育て支援センターあおぞら

2024 年度は、地域との連携や交流を深めるため、あおぞら所在地の伊沢地区や設置エリアである「あわむすび」の関係機関と連携し、様々なイベントを実施しました。

特に、「あわむすび」エリア内で他施設と共催した「むすびまつり」では、市内外から多くの親子や多世代の方々が訪れ、あおぞらの存在や事業内容について広く周知するとともに、地域の方々との交流を深める良い機会となりました。

また、阿波市内の子育て支援センターの職員との交流や情報交換も行い、今後の連携を強化していくことが決まりました。さらに、高校生ボランティアや中学生の職場体験を通じて、**異年齢間の交流も実施し、地域全体で子どもを支える取り組み**が進んでいます。

あおぞらは、今年度開所 5 年目を迎えましたが、まだ利用したことのない親子も多く存在しています。より多くの方々に「ちょっと行ってみようかな」と思ってもらえる場所となるよう広報にも一層工夫を凝らし、地域に根ざした子育て支援の拠点として、今後も発展させてまいります。



2024.9.13 水遊び



2024.10.3 親子ふれあいマッサージ



2024.10.9 中学生職場体験



2024.12.4 手形アート



2024.12.14 クリスマス会



2025.1.31 節分イベント

(4) 吉野川市子育て支援センターちびっこプラザ

2024年度は「市外の方」の利用が水曜日限定で開始しました。市内外の親子の交流にもなり、多くの親子に喜ばれています。また、栄養士による「栄養相談」、専門講師による「マタニティヨガ」「赤ちゃんヨガ」「トータルケア（骨盤ケア）」などは、利用者の要望も強く、多くの方が利用してくれました。さらに他機関の防災フェスタや地域の祭りでのブースに参加し、**地域の方とも繋がりをもつ事も増えてきました。**

また、『市民プラザふれ愛フェスティバル』では、市制20周年も重なり、行政や日本フネン市民プラザ館内の他団体と協力し、2,000名が来場する大きなイベントを開催する事が出来ました。

2025年度も、人と人が繋がる事を大切にし、利用者のニーズに迅速に対応し、居心地のよい癒される場所になるように努めてまいります。



2024.4.18 親子でリトミック



2024.7.5 セタまつり



2024.9.01 赤ちゃんヨガ



2024.10.25 お誕生会



2024.12.20 クリスマス会



2025.2.3 節分イベント

(5) 親子ふれあいプラザ

2024年度は、**プレパパプレママ講座を中心に、産前産後の悩みや不安を相談できる場所、頼れる場所として子育て支援施設があることを知って貰える良い機会となりました。**「育休をとった時のパパの体験談」「夫婦会議を始めよう」では講師を交えて座談会を開催し参加者同士で悩みを共有し合い、大変好評でした。「生まれてすぐに赤ちゃんの写真を残そう」では、きれいに写真を撮るコツやスマホの編集方法を指導してもらい、「ここちよい抱っこの仕方」「産前・産後をすごすための身体作り講座」「家族ご飯と栄養相談」では助産師や栄養士を招いて、簡単なストレッチ方法、離乳食や食事についての知識を得ることも出来ました。

次年度の親子ふれあいプラザは、**子どもと親が気軽に立ち寄り、子育て中の親子と一緒に遊び、交流を図りながら仲間づくりができる場所を提供できるような雰囲気づくりに努めてまいります。**



2024.4.16 おすすめ絵本



2024.6.19 運動遊び



2024.6.26 抱っこ紐講座



2024.8.20 夏祭りごっこ



2024.9.6 リトミック



2025.6 プレババ講座

(5) オンライン子育てひろば「あうん・じょ」

定 員：5 名

内 容：zoom を利用した動画の視聴

時 間：30 分～ 60 分

対象者：0 歳～就学前のお子さんを持つ保護者、妊婦さん

日付	相談種別	講 師	開催内容	参加人数
4/30	動画 de 抱っこ紐講座	中川 智子氏	「快適な抱っこ紐の選び方や正しい安全な使い方について」以前ブラザで実施した内容を録画して流した。今回は中川先生も参加して下さったので、多くの質問にも答えて下さった。	予約 1 当日 2
5/31	動画 de 米耀講座	管理栄養士 長尾 紀子氏	「アレルギーについて」画像がみだれることもあったが、講座内容については十分聞き取ることができた。	予約 3 当日 1
6/25	動画 de 1 歳からの言葉かけ講座	中西 紗希氏	インターネットの不具合で実施できなかった。参加予定だった、2 名の方には事前に連絡を取り、インターネットの修繕が出来次第、開催することです承いただいた。	予約 2
7/31	動画 de 1 歳からの言葉かけ講座	中西 紗希氏	「夜泣きの理由、子どもにして欲しくない行動の対処方法などについて」SNS で情報を得て今回初めて参加くださった方も居て有難かった。	予約 5 当日 4
8/30	動画 de 脳を育てるグッズ講座	中西 紗希氏	親子ふれあいプラザの PC 及び、インターネットの不具合で実施が出来なかった。子育て支援課には連絡済み。	予約 0
9/26	動画 de 1 歳までの ベビーマッサージ講座	布川 正秀子氏	「洋服を着たまま気軽にできる、マッサージ方法について」布川さんは当日参加されなかったため、あらかじめ質問には答えることが出来ないことを伝えての広場となった。	予約 2 当日 2
10/29	動画 de 防災講座	防災士 中川 智子氏	「非常用持ち出し袋の中身について」丁寧にお話下さるので人気の講座だが、都合が悪くなりキャンセルとなった。	予約 2 当日 0
10/29	動画 de 抱っこ紐講座	中川 智子氏	「赤ちゃんの成長に応じた抱っこ紐の調整について」鳴門市にある子育て支援施設のスタッフの方の参加。広場をきっかけに、子育て支援の輪を広げていければ有難い。	予約 1 当日 1
12/20	動画 de 防災講座	防災士 中川 智子氏	「防災リュックの中身について」参加された方のリクエストにお答えして、パーソナルカードと防災リュックのリストを後日メールで送付した。	予約 1 当日 1
1/28	動画 de 1 歳からの言葉かけ講座	中西 紗希氏	「保護者にとっていたずらと感じる子どもの行動について」オンラインの為、参加者が途中参加、終了前に退室することもあった。終了後のお礼メールで、講座内容のポイントを補足した。	予約 4 当日 3
2/28	動画 de ベビーマッサージ講座	布川 正秀子氏	「洋服を着たまま、気軽にできる、マッサージ方法について」招待メールに 10 分前から入室できることを記載し、余裕を持って開催することが出来て良かった。	予約 3 当日 3
3/25	動画 de 抱っこ紐講座	中川 智子氏	「快適な抱っこ紐の選び方や正しい安全な使い方について」当日参加者がキャンセルとなり、開催出来なかった。オンライン子育て広場の広報の方法についても、検討する必要がある。	予約 1 当日 0

3. 子ども預かり事業



ファミサポ講習会や女性の活躍推進事業などを開催する際の託児をファミサポの提供会員依頼し実施しました。託児付きの講習会は、**子育て中の母親も次のステップに踏み出す足がかり**になると同時に、提供会員においては、**サポート活動に踏み出すきっかけづくり**にもなっています。

(1) 出張託児 “きらり”

事業開始2年目となる2024年度は、徳島県や市町村、様々な団体からの問い合わせや依頼があり、**18件、約50時間、のべ80名の託児**をしました。初年度に比べ実施件数も託児人数も2倍近く増加しています。今年度も昨年度から継続しての依頼を受けており、**徐々に事業の浸透化と定着化**をみせています。さらに受け皿を大きくするため、ファミサポと連携を取り、託児するサポート人数も増やし、内容も充実したものにしていきます。今後も子育てしながら働き続けられる環境づくりの一助となれるよう努めます。

(2) 未就学児預かり事業

2017年度より海陽町において、卒園から小学校入学までの休暇中の未就学児を対象に預かり事業を実施しています。預かり期間中、指導員の工夫を凝らした日課活動を通して決まり事を守り楽しく遊ぶことを学び、周囲との関係づくりや小学校生活へのステップとなる体験を子どもたちに提供しています。

第1回 2024年4月 1日～4月 8日(6日間) 延べ31名(児童)

第2回 2025年3月25日～3月31日(5日間) 延べ5名(児童)

(3) ときわプラザ「こども室」

こども室の「リユースくるくる」は前年度よりさらに利用者が増え3,000人を超える方にご利用いただきました。特に前年度は、**外国人留学生の寮の方や学校の先生、施設の方などの問い合わせや利用が多く**、支援の輪が幅広くなっていると実感しています。SNSや口コミで広がり、持ち込みの問い合わせも多く「捨てるのはもったいないのでぜひ使ってもらえたら」とたくさんの物をご寄付いただいております。**持ち帰りの際にいただいた募金は今年度74,914円**にもなり、ハートフルゆめ基金とくしまのファミサポ利用補助として役立っています。この度、**徳島県認定3Rモデル事業所にも認定**いただき、さらに他のファミサポや支援センターと連携をはかりながら、循環型社会づくりに取り組んでいきたいです。

(4) 吉野川市ちびっこプラザ 託児事業

預ける方も預かる方も、安全・安心に託児が出来るように、**託児前に簡単な問診を記入していただくよう**にしました。当日の様子を明確にする事により、子どもさんが何を伝えようとしているのかが理解しやすくなりました。子どもさんが笑顔で心地よく過ごせる事を大切にしています。また、1週間に一度の利用の仕組みも、保護者の利用しやすいように1週間の概念の仕組みを変更しました。

ちびっこプラザで託児をしているのを見て、利用してみたいという方も増えてきています。

託児（2 時間）で時間が足りない場合はファミサポも併用してご利用していただくことで、子育て家庭の一助となるように努めてまいります。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
18人	18人	19人	15人	12人	8人	10人	5人	2人	5人	7人	10人	129人

4. 次世代育成支援事業

（1）赤ちゃん授業事業

2024 年度も県からの委託を受け、王地小学校、鴨島第一中学校、阿波高校、文理大学で実施しました。阿南市も昨年に引き続き、阿南中学校、新野中学校、椿町中学校の3校で実施しました。開催校では、助産師による「命の授業」を受けた後、学校へ来ていただいた赤ちゃんとは直接ふれあい、ママパパから話を聞いたり質問などをするふれあい交流体験をしました。赤ちゃんとの触れ合いを通して、命の大切さや親への感謝を実感したという声も多く、生命の尊さ、親子の絆、子育ての大変さ、そして将来への希望など多岐にわたる気づきを得ていることが分かりました。保護者からも自分の子どもの成長を実感し、自分の育児を振り返るいい機会となりこれからの育児への励みとなったという声があり、双方にとってかけがえのない授業となりました。今後もより充実した赤ちゃん授業になるよう中期ビジョン 2030 の県下全中学校での実施に向けてこのようなふれあい交流授業を継続的に実施、また拡げていくことに努めていきます。

学校名	生徒数（学年）	日程
三好市立王地小学校	16 人（5・6 年）	10/31
吉野川市立鴨島第一中学校	116 人（3 年）	10/10・10/11
徳島県立阿波高等学校	39 人（2・3 年 希望者）	9/24
徳島文理大学	39 人 （保健福祉学部看護学科 1 年）	11/20
阿南市阿南中学校	3 年	6/20.21
阿南市新野中学校	1～3 年	7/5
阿南市椿町中学校	1～3 年	10/8

（2）BP1 プログラム事業

2024 度は何度も計画を立てても、催行人数に達することなく、再度計画を練り直しすることが多々あり、難航しました。阿南市での事業の隙間を埋めることでなんとか一回は開催することができましたが、2025 年度からは各市町村での親子関係形成支援事業となるため、実施事業を開始する各自治体への働きかけを重点的に行ってまいります。

日程	会場	ファシリテーター	参加組数
11/21.28.12/12.19	阿南ひまわり会館	泉 寿美 川越 宏美	3 組



Ⅲ．ライフサポート

1. 結婚支援事業 とくしまマリッジサポートセンター（マリッサとくしま）

2016年7月に開設されたマリッサとくしまも2024年度は8年目となります。2021年11月にとくぎんトモニプラザ4階からアミコ東館7階へ移転し、当初懸案事項であった**利用者の駐車料金について、2024年4月1日より初回登録、更新登録の手続きの方に限り、上限2時間の駐車料金無料サービスが実現しました。**また、昨年度、スタートした結婚支援コンシェルジュを中心に市町村や企業・団体との連携が進み**市町村との連携ではイベントを共同開催した市町村は12市町村、マッチング会員に向けた会費補助は8市町村、イベント参加者への補助は1市町村と徳島県内に結婚支援の輪の拡がりを感じる結果となりました。**2024年11月より実施した「相性診断マッチングスタートキャンペーン」（プロカメラマンによるプロフィール写真撮影）では新たな会員層獲得に向けて新しい切り口でのキャンペーン実施とキャンペーンと連動した40対40の大型イベントを開催し若年層へ訴求できたことは、今後、2026年（10周年）を迎え、より多くの独身者へ出逢いの場を提供できる飛躍の1年になったと考えております。今後も「開かれたマリッサ」（参加へのハードルをできるだけ低く）、「活力あるマリッサ」（サポーターが活き活きと活躍できる仕組みの構築）、「連携豊かなマリッサ」（自治体や応援、協賛企業・団体とのさらなる連携）を目標課題として、10周年記念事業へ向けた準備を進めていきます。

実績（2025年3月31日現在）

事業名	（ ）は前年度比
マッチング（1対1のお見合い）登録者数	748（60人減）
イベントユーザー会員数	3,749（395人増）
阿波の縁むすびサポーター	105（22人増）
誕生カップル（マッチング）累計	3,452（422人増）
誕生カップル（イベント）累計	2,006（304人増）
成婚者数 累計	183組（27組増）

マリッサ来所者数

月	マッチング			計
	登録・更新者数	閲覧者数（自宅閲覧）	相談者数	
4月	36	133（2,086）	15	184
5月	24	111（2,192）	16	151
6月	25	122（1,978）	11	158
7月	36	125（1,938）	18	179
8月	24	99（2,015）	15	138
9月	23	96（1,934）	9	128
10月	20	75（1,909）	17	112
11月	28	77（1,697）	7	112

12月	26	72 (1,719)	11	109
1月	24	74 (1,536)	12	110
2月	35	92 (1,676)	9	136
3月	30	89 (2,116)	12	122
計	331	1156 (22796)	152	1639

(1) 何でも相談会の開催

今まで以上に親しみやすく相談しやすいように **2024 年度 5 月から名称を変更（以前は個別相談会）してスタートしました。毎月「テーマ」を設け独身者だけではなく親御様の相談含め様々な方が相談しやすいよう進めてまいります。**

(2) マリッサとくしま事業推進連携会議の開催

「マリッサとくしま事業推進連携会議」は、**委託元の徳島県と、勤労者福祉ネットワーク（マリッサとくしま）が知恵を出し合い、結婚支援事業の拡充と実績の向上に向け、2018 年より、年 1～2 回のペースで開催しています。**

第 1 回マリッサとくしま事業推進連携会議

と き：2024 年 5 月 14 日（火）13：30～

ところ：財団小会議室

内 容：超少子高齢化、人口減少社会を迎えた日本 マリッサの役割について共有するとともに、当面する具体的な課題として、広域的な取組について、**サポーターの組織化について、市町村・企業団体との連携**などについて協議を行いました。

(3) とくしま結婚支援ネットワーク会議の開催

コロナ後、生活スタイルはもとより価値観までもが大きく変わってきています。結婚支援のあり方もそれぞれの立場で変化があり、県内の市町村、企業も、この**結婚サポート事業を少子化対策、過疎化対策、地域活性化策**などとしてとらえ、それぞれの取り組みの共有やマリッサの仕組みを活用した取り組みの検討など協議を行っています。

と き：2024 年 5 月 28 日（火）10：30～

ところ：徳島新聞カルチャーセンター徳島本校

内 容：市町村の担当者 12 名、企業団体の担当者 8 名参加のもと、久積理事長、県担当課長より挨拶がなされ、事務局から、マリッサの現状（現在までの実績など）、県、市町村、企業団体と連携したイベントの報告などを行いました。市町村の取り組む事例として、松茂町から発表、協賛企業を代表して日亜化学工業株式会社から発表を行ったあと、意見交換を行い、応援企業によるイベント開催を通じて感じた課題や、協賛企業が取り組んだ結婚支援などについて発言がなされ、**情報の共有が活発**に行われました。

(4) とくしまマリッジサポートセンター連絡協議会の開催

「とくしまマリッジサポートセンター連絡協議会」は、**経営者団体、行政機関、労働団体、労働者福祉事業団体、婚活支援団体等により構成**され、とくしまマリッジサポートセンター（マリッサとくしま）の運営及び支援について、また、徳島県における結婚支援活動のさらなる推進を図ることを目的とした協議会です。

第 1 回とくしまマリッジサポートセンター連絡協議会

と き：2024 年 7 月 30 日（火）14:00 ～

ところ：ふれあい健康館 第 2 会議室

内 容：市町村や企業団体との連携、サポーターの拡充、10 周年記念事業等当面の課題について協議しました。意見交換ではマリッサとくしまの広報についてや会員数増に向けての意見がなされ、活発な会議となりました。

(5) 阿波の縁むすびサポーターのスキルアップ研修の充実

2025 年 3 月末で **105 名の登録**がありました。今年度はサポーターのスキルアップ及び活動範囲の拡大に向けて取り組んでおります。具体的には**婚活イベントやマッチング（1 対 1 のお見合い）での独身者へのフォローの仕方にスポット**を当て、これまで蓄積してきた事例を共有しながら、サポートにおける良い例・悪い例の提示、具体的な対応方法を共有してきました。

そして、スキルアップ研修の一環で**結婚支援に関して先進県である愛媛県の結婚支援センターへ視察**に伺いました。特徴的な事例の共有やサポーター同士の交流等、実りある研修となりました。

また、新しい取組としてサポーター主体でイベントの企画・運営を実施。この取組はサポーター側からイベントを企画したい旨の要望がありマリッサがフォローする形でイベントを開催。参加者の満足度も高く今後も定期的にイベントを開催する予定となっています。この事例のように R 6 年度はサポーターの自主性の高まりを感じることが多く、マリッサの広報活動にも積極的に参加していただき**サポーター活動の拡がりを感じることができた一年**となりました。

えひめ結婚支援センター視察・研修

と き：2024 年 9 月 11 日（水）13:00 ～ 16:10

内 容：結婚支援の先進県であるえひめ結婚支援センターの取組共有、サポーター同士の交流及び事例共有等

参加者：マリッサとくしまスタッフ 6 名、サポーター 8 名

サポーター企画イベントの開催

タイトル：【25 歳～ 37 歳限定】恋する夜 cafe in café オリジン Vol.1

～石井町を盛り上げ隊！石井町サポーターズプレゼンツ恋活から始まる出逢い～

と き：2025 年 1 月 25 日（土）17:00 ～ 20:30

参加者：男性 10 名、女性 7 名

内 容：サポーターが企画から運営まで行った石井町にある人気の古民家カフェ「café オリジン」でのカップリング付きイベント。カップルも 2 組誕生し、満足度の高いイベントとなりました。

(6) イベント開催状況

2024 年度は、昨年度新設された結婚支援コンシェルジュの活動により、通常のイベントに加え市町村や企業・団体との連携がより密になり、多くのコラボイベントを開催することができました。



2024.4.13 素敵な出逢いをスプンティーノで



2024.5.12 「昼下りの絶品カクテルパーティー」



2024.6.1 プチコン「人狼ゲームナイト」



2024.9.8 海陽町 DMV にマリッジの旅へ出発

(7) 相性診断マッチングスタートキャンペーンの実施

「相性診断♥マッチング」という新たな切り口による、新規層（若年層や女性等）の獲得と「マリッサとくしま」の更なる認知度向上を目的に「カップル 2500 組突破！相性診断♥マッチングスタートキャンペーン」を実施。また、キャンペーンとの連動企画で事前に「相性診断」を受けた独身者同士が会う「40 対 40 の大型イベント」も開催しました。

キャンペーンの概要

- ①特 典：プロカメラマンによるプロフィール写真撮影
- ②期 間：2024 年 11 月 18 日（月）～2025 年 2 月 28 日（金）
- ③定 員：200 人限定

キャンペーン連動イベントの開催

タイトル：“マリッサ初の 40 人×40 人のビッグパーティー!!”【恋活×相性診断】

～人生が変わる恋はここから♥相性診断で運命の人に会いに行く～

～相性診断でナビゲートする恋活～

と き：2025 年 2 月 15 日（土）18：00～20：30

参加者：男性 39 名、女性 40 名

内 容：参加者は事前に「性格・相性タイプ診断」を受けていただき、お互いの性格・相性を知った上でイベントに参加。カップリングは無し of 気軽な交流会形式のイベントでしたが連絡先の交換もしっかり行われ多くの出逢いを提供できました。

キャンペーンの結果

①初回登録者：63名。更新登録者：36名。計99名

②登録者の男女比率は6対4。男性、女性それぞれ年代別割合は30歳代が多くなっている。

会員獲得数の目標は達成できませんでしたが、相性診断を前面に打ち出すことでマリッサを利用した新たな出会い方の提案につながったと考えます。また、キャンペーンの連動企画で開催した40対40の大型イベントもマリッサの課題である若年層へPRできたことは、今後、10周年（2026年）へ向けたマリッサの将来を展望する上で大変参考になる結果を得ることができました。

（8）その他

2025年度も、何でも相談会、出張登録・閲覧会、サポーター研修会、市町村との連携イベント、各種セミナー、異業種交流イベント「マリッサークル」の開催など、昨年度に続き積極的に取り組んでまいります。



2. つながり文化交流室

（1）第1回運営委員会の開催

2025年2月12日（水）、第1回ユニバーサル・カフェつながり運営委員会を開催しました。事務局から、これまで3年間の活動報告と今後の方向性について提案し、意見交換を行いました。「外国人と一緒に何ができるか」を考え、今後は拠点となる「つながりカフェ」を開設し、藍製品の制作・販売、異文化交流会・国際子ども食堂の開催、語学教室・防災教室、関連NPO法人の物品販売等を検討していくことを確認しました。

（2）交流会の開催

回数	開催日	内容	会場
第29回	10月31日（木）	ベトナム文化紹介とランチ	ベトナムキッチン（徳島市）
第30回	11月22日（金）	スリランカの文化紹介とランチ	スリランカレストランマータラ（徳島市）
第31回	12月8日（日）	おもちつき大会	徳島県労働福祉会館（徳島市）
第32回	1月26日（日）	中国文化紹介と餃子作り体験	佐古コミュニティセンター（徳島市）
第33回	2月28日（金）	中国文化紹介とランチ（春餅）	中国料理 福来祥（阿南市）



2024.10.31 第29回つながり交流会



2024.12.8 第31回つながり交流会



2025.01.26 第32回つながり交流会

(3) 第1回国際こども食堂の開催報告



開催日時：2025年3月22日（土）11:00～13:30

場 所：昭和コミュニティセンター（徳島市中昭和町）

テ ー マ：中国肉まん作りと伝統遊び体験

参 加 費：おとな 300 円、こども 無料

参加総数：85 名

当日は、県内在住の8ヶ国、63名の親子連れその他、ボランティアスタッフを合わせると85名が集い、4つのグループに分かれ、生地から肉まん作りを体験し、出来上がった肉まんを美味しく頬張りました。肉まん作りの他、ボランティアの方々が、こどもたちに龍の人形を使った演舞を披露されたり、二胡の弾き方を教えてくださったりと中国の文化を知ることができた1日になりました。今後も、県内在住の外国出身の方が、気軽に集うことができる「国際こども食堂」を、定期的に開催できるよう努めます。



3. 子育て支援員研修

地域の子育て支援の”量の拡充”や”質の向上”を進めるために「子ども・子育て支援新制度」が、2015年4月に本格スタートし、その担い手となる人材の確保のため、「子育て支援員研修」が実施されることとなりました。2024年度も引き続き受託が決定し、**205名の申込み**がありました。保育施設での見学実習も実施し有意義な研修を運営することができました。



2024.07.03 子育て支援員研修説明会



2024.09.02 子育て支援員研修



2024.10.26 子育て支援員研修

4. 保育士等キャリアアップ研修

保育現場での多様な課題への対応や若手の指導等、職務内容に応じた保育士等の専門性の向上を図ることを目的とした、「保育士等キャリアアップ研修」を2021年度から受託しています。今年度も受託が決定し、**8つの分野に1,143名の応募**がありました。通常はオンライン(zoom)と集合会場に分かれていますが、**今年度は実技分野が対面での実施となり、講師と距離の近い有意義な研修が実施できる予定**です。保育士等の処遇改善の一助を担えるよう丁寧な運営を心がけます。



2024.06.20 保育士等キャリアアップ研修
「保健衛生・安全対策」



2024.07.23 保育士等キャリアアップ研修
「幼児保育」



2024.12.04 保育士等キャリアアップ研修
「保育実践」

5. 女性の活躍推進支援事業

2024年度は徳島市事業で実務に使えるパソコン講習とヒューマンスキル講習を合わせた形で実施しました。

はーと事業（徳島市）

女性が再就職するにあたり、また、働くにあたっての自らの仕事への適性や必要なスキルを身につけるための講座を合計16回にわたり実施しました。

期間：2025年1月20日（月）から2月27日（木）うち16日間

日 程	講 座	内 容	講 師
2025 1/20(月)	自分らしく働くために	自分の魅力を発信しよう ～人生の棚卸～	キャリア相談室 manimani（まにまに）代表 瀬尾 ふみ
2025 1/21(火)	パソコン講座	実務に使える Word ①	FromNow 代表 佐々木 理恵
2025 1/22(水)	パソコン講座	実務に使える Word ②	FromNow 代表 佐々木 理恵
2025 1/27(月)	パソコン講座	実務に使える Word ③	FromNow 代表 佐々木 理恵
2025 1/28(火)	パソコン講座	実務に使える Word ④	FromNow 代表 佐々木 理恵
2025 1/29(水)	パソコン講座	実務に使える Word ⑤	FromNow 代表 佐々木 理恵
2025 2/3(月)	話し方講座	話し方のコツを知ろう	アナウンスグループカインド代表 平木 彰子
2025 2/4(火)	目に留まる！応募書類	今さら聞けない 履歴書・職務経歴書の書き方	（公社）徳島県労働者福祉協議会 自立サポート事業部 とくしま地域若者 サポートステーション 所長 中村 光輝

2025 2/5(水)	パソコン講座	実務に使える Excel ①	FromNow 代表 佐々木 理恵
2025 2/12(水)	パソコン講座	実務に使える Excel ②	FromNow 代表 佐々木 理恵
2025 2/17(月)	パソコン講座	実務に使える Excel ③	FromNow 代表 佐々木 理恵
2025 2/18(火)	パソコン講座	実務に使える Excel ④	FromNow 代表 佐々木 理恵
2025 2/19(水)	パソコン講座	実務に使える Excel ⑤	FromNow 代表 佐々木 理恵
2025 2/25(火)	社会保険の基礎	社会保険の適用について	(公財)徳島県勤労者福祉ネットワーク 社会保険労務士 形山 直樹
2025 2/26(水)	アンガーマネジメント	自分の中にある イライラとの寄り添い方	四国大学非常勤講師 アンガーマネジメントファシリテーター 浪越 あゆみ
2025 2/27(木)	企業が求める人材	ワークライフバランスな働き方 ～働くために大切なこと～	株式会社ネオビエント 代表取締役会長 藍原 理津子



2025.01.20 女性・若者活躍推進支援セミナー



2025.02.05 女性・若者活躍 PC 講座



2025.02.25 女性・若者活躍「社会保険の基礎」

6. コミュニティビジネスセミナー 2024

「コミュニティビジネスセミナー」は2015年度から毎年開催し、今回で10回目のセミナーとなりました。

昨年度に引き続き、徳島市および関連自治体の地域課題解決のために起業を考える方、興味を持つ方がセミナーを通じて一歩前へ踏み出せるきっかけを作るとともに、参加者の人的ネットワークの幅を拡げ、**地域コミュニティ活性化のスキルアップ**はもとより、**起業までをきめ細やかにサポート**することで、将来の創業・雇用創出につなげることを目的としたセミナーとなっています。

セミナーの内容としては、ワークショップに重点を置き、経緯や経過をイラストで可視化する作業を行いました。また、**起業を志す参加者のイメージをより具体化、共有化ができるように、前年度までの参加者を講師とした成功事例の発表**を行うなど、起業をより身近にとらえ、具体性、継続性のある受講者に寄り添ったセミナーとなるよう工夫しました。

【第1回】

と き：2024年10月3日(木) 13:30～16:30

ところ：徳島市産業支援交流センター アミコビル9階

講 師：ゲスト/株式会社紡樹 代表取締役 富浪真樹氏

ファシリテーター/吉野哲一氏

グラフィックレコーダー/高尾美由姫氏

【第2回】

と き：2024年10月10日（木）13：30～16：30

ところ：徳島市産業支援交流センター アミコビル 9 階

講師：ゲスト / なるとらっきよの「もやい舎」

代表 藤井隆行氏

ファシリテーター / 吉野哲一氏

グラフィックレコーダー / 高尾美由姫氏

【第3回】

と き：2024年10月17日（木）13：30～16：30

ところ：徳島市産業支援交流センター アミコビル 9 階

講師：ゲスト / 那賀町地域おこし協力隊 藤本雪絵氏

ファシリテーター / 吉野哲一氏

グラフィックレコーダー / 高尾美由姫氏



2024.10.3 CB セミナー

【第4回】

と き：2024年10月24日（木）13：30～16：30

ところ：徳島市産業支援交流センター アミコビル 9 階

講師：ゲスト／一般社団法人うみのこてらす

代表理事 川邊笑氏

ファシリテーター / 吉野哲一氏

グラフィックレコーダー / 高尾美由姫氏



2024.10.24 CB セミナー

7. 調査・研究事業

2024 度は、あわ～ず徳島で会員事業所を対象にアンケート調査を行いました。コロナ禍の3年間で生じた価値観やライフスタイルの変化、この間実施したコロナ禍向けのサービスの評価などを調査し、今後の福利厚生サービスの充実につなげます。

その他、各事業部で調査し、その根拠に基づき事業を展開してまいります。

[illegible]

8. ハートフルゆめ基金とくしま



ライフサポート部



ハートフルゆめ基金とくしまは、地域の課題に向けて取り組む NPO 法人等を応援するために設立され 2024 年度に 10 年目を迎えました。2024 年度も他事業部との連携により多くの寄付を集めることができました。

(1) 2024 年度冠基金の現状について

募金No	寄付額	助成額（5%手数料）	
		件数	合計
8000 ハートフル社会貢献基金	635,361	6	810,000
8001 ファミサ [®] 利用支援子育て基金 （FSC リー・ス・サ [®] - ト代含む）	399,937	9 人	93,640
8004 DV 被害者サ [®] - ト活動支援基金	0	0	0
8005 外国人との共生とくしま交流基金	253,000	0	0
阿波市 FSC エシカル基金	85,000	73	47,150
美馬 FSC エシカル基金	0	-	15,380 （おもちゃ購入）
合計	1,373,298	88	950,790

※美馬 FSC においては、行政からの補助が出ることになったため、寄付者の意向に基づき残金はサポート時に必要な消耗品を購入した。

※阿波市 FSC は継続中（未清算のため助成額が不明）

■ ファミサ利用支援子育て基金 内訳

FSC・拠点リー・ス等	マンスリー	一般寄付	合計
175,237	120,000	175,700	399,937

(2) 他事業部や各種団体との連携



■ くーぽん丸。

くーぽん丸。冊子とアプリの広告を募集し、**広告料金の 1/2 を「ハートフル社会貢献基金」**の寄付として充当しています。

「くーぽん丸。2024」では 1 団体が新たに増え、**協力企業・団体は 14 団体**となりました。アプリ内では随時広告できることから、さらなる寄付募集に努めます。

協力企業・団体

（株）徳島大正銀行／（公社）徳島県労働者福祉協議会／（株）あわわ／（株）金剛
 全徳島建設労働組合フレッセ／徳島県経営者協会／徳島県商工会連合会／徳島商工会議所
 徳島県中小企業団体中央会／生活協同組合とくしま生協／徳島バス（株）／四国労働金庫
 マリッサとくしま／徳島人生たすけあい家

■各ファミサポや支援センター等との連携

各ファミサポや子育て支援センターでは、リユースの持ち帰りの際にお気持ち募金と呼び掛けています。リユースコーナーを訪れる人は年々増えていることもあり、**年間8か所で307,383円**となりました。

■ボランティア活動

ボランティア活動は支援のひとつの形です。ファミサポの活動やイベント等の手伝いに来られた方々の募金を通して実感しています。

■人材育成

2023年10月よりライフサポート部が担当しています。今後も**複数体制で担当することとし、担当者のスキルアップに努める**とともに、丁寧で継続性のある運営を行います。

■全国コミュニティ財団協会との連携

これまでの財団としてのハートフルゆめ基金とくしまの実績などが認められ、**2023年に全国コミュニティ財団協会に加盟**することが叶いました。全国コミュニティ財団は、市民の主体的な地域社会の課題解決を促し持続可能性を高め、公共の利益を増進することを目的としており、財団本事業の主旨にも合致しています。今後も全国の他のコミュニティ財団とも積極的に交流し、研修することで、本事業の充実をめざします。

(3) 広報の充実

■パンフレットの作成

冠基金だけでなく、ハートフルゆめ基金とくしまの**あゆみや活動を紹介する幅広いパンフレットを作成**（2025年5月発行）しました。今後、より多くの方にハートフルゆめ基金とくしまを知っていただくための広報媒体として活用し、事業の幅を広げていきたいと考えています。



(4) 「ハートフル社会貢献基金」助成金について

2024年度も冠基金「ハートフル社会貢献基金」を通じて、地域課題解決に向けて頑張っている団体に対して助成を行いました。

2024年度の助成団体

- ・ NPO 法人 ALIVE LAB
- ・ 子どもゆめスクエア
- ・ NPO 法人こころのベース
- ・ ひらの図書室 NPO 設立準備チーム
- ・ シン・あらそわ連
- ・ 徳島ウィーディング県民運動準備会



(5) 円卓フォーラムの開催

2024 年度は、前半で **2024 年度の助成団体から助成事業の中間報告**を行いました。後半では、ファシリテーターを交えて、**助成団体との対話セッション**を行いました。参加者が各テーブルを回り、各団体に対し共感できる点や新たなアイデアを提案しました。

日 時：2024 年 12 月 16 日（月）18：30～20：30

場 所：アスティとくしま 3F 第2特別会議室

ファシリテーター：濱上隆道氏、清瀬由香氏



9. くーぽん丸。【収益1】



(1) くーぽん丸。スマホアプリ化

県下全域の店舗でのサービスが開始され **2 年半が経過**しました。今後は更に店舗数やサービスの充実を図り、地元商店の活性化と消費者の可処分所得の増加、生活の安心の提供と限りある資源を大切に、**企業も、消費者も、地域社会も、未来もみんなが幸せになれる社会の実現**をめざします。



年月	ダウンロード数 (ios/And)	アクセス数	訪問者	クーポン総利用
2023/3	1,606 (1,060/546)	4,717	3,262	118
2024/3	9,846 (5,898/3,948)	134,690	68,409	27,540
2025/3	5,814 (3,386/2,428)	121,300	64,105	29,265

(2) あんしん情報サイトの充実

アプリ化にともない、スマホとともに「あんしん情報」も身近になりました。手元でいつもリアルな情報を提供できるよう、あんしん情報の充実に努めます。

またアプリ独自にイベント情報も搭載していますが、未だ十分ではないため、今後情報が入る仕組みづくりに努めていきます。

(3) SNS の活用

新たに、くーぽん丸。の Instagram を開設しました。店舗やイベントの案内などで活用し、くーぽん丸。の魅力発信に努めます。また、**中小企業サポート部や子育てサポート部とも連携し、お互いのツールの活用や、情報を共有**していきながらより効率的な情報発信ができるようすすめていきます。

(4) 寄付つき広告

社会貢献のための収益拡大に向け協賛金や広告掲載を更に充実させます。2018 年度版からスタートした「寄付つき広告（広告料の 50% をハートフル社会貢献基金に寄付）」も 2024 年度版で 7 年目となりました。「くーぽん丸。2024」に寄付をいただいた企業・団体は**全部で 14 団体となり、寄付の半額（1/2）をハートフルゆめ基金とくしまに寄付**することができました。

寄付広告にご協力いただいた 13 の企業・団体（順不同・敬称略）

(株) 徳島大正銀行／(公社) 徳島県労働者福祉協議会／(株) あわわ／(株) 金剛
全徳島建設労働組合フレッセ／徳島県経営者協会／徳島県商工会連合会／徳島商工会議所
徳島県中小企業団体中央会／生活協同組合とくしま生協／徳島バス（株）／四国労働金庫
マリッサとくしま／徳島人生たすけあい家

寄附をいただいた企業・団体に対しては、紙面の広告だけでなく、**アプリのトップ画面に企業団体のロゴを配置**しています。自動スライドで寄付広告を見ることができ、さらにクリックすることでサイトへの移動も可能です。今後も、企業・団体と連携し、くーぽん丸。が社会貢献の窓口の一つになることができるように努めます。

IV 総務部門

1. 賃貸事業【収益 2】

当財団が所有する徳島県労働福祉会館に**併設する土地を駐車場として賃貸**しています。引き続き財産管理の安定した運営に努めることとします。

2. 指定管理事業【収益 3】

2024 年度は**燃料・電力等諸経費の高騰に伴い両施設とも料金の改定を余儀なく**されましたが、入場者数、利用者数等とも**前年を若干下回る程度の減少にとどまりました**。

2025 年度も、諸物価の値上がりに歯止めがかかる気配もなく、また日本各地の地震の発生が

NETWORK 総務部



続き、南海トラフ巨大地震の発災不安と予断を許さない状況ですが、**両施設が「いつでも、どこでも、だれでも」が利用できる「多世代交流の場」として**、様々な世代の人々が集い交流できる三好市の一つの拠点として定着できるよう引き続き努めます。

また、2 施設の利点を活かしつつ、連携しあうことでコストの削減、人的作業効率のアップを図ります。

(1) 健康とふれあいの森

2024 年度の公園（バンガロー等利用者）利用者数は、**夏季の猛暑及び 11 月下旬からの厳しい寒さ、積雪による道路凍結等の影響**で当財団の担当した過去 10 ヶ年平均の数字に対して**総訪問者数は 20 パーセント減**で月平均 1,400 人強。**総利用者数は約 42 パーセント減**の月平均 170 人。施設使用料金は 4 月以降の予約者に対しては新価格の適用としましたが、4 月以前の予約については旧料金の適用としたため、**昨年度の 14 パーセント減**の 440 万円に終わりました。自然を生かした施設のため、天候に左右される面は致し方ないとしても、なお一層の知名度の向上とともに親しまれる施設を目指してまいります。

体験型イベントの企画及び開催

コロナ以前に好評を得た**星空観望会、炭焼き体験**など**野外体験型のイベント**を企画・開催します。

また環境を生かした「**テントサイドデッキ**」を従来以上に**アピールしリピーターを増や**していきたいと思えます。

(2) 三好市ふれあい紅葉センター

紅葉温泉においては 2024 年度の温泉利用者数については**燃料費始め経費の高騰に伴い、概ね 100 円程度の入湯料金の値上げを実施**いたしました。当初から当財団担当過去最高であった前年対比 5 パーセント弱の入湯者減を予想していましたが 4 パーセントの減の 5 万 5 千 2 百人。売上については**前々期並みの 2 千 9 百万円弱**となりました。これは前期末**事前の値上げ発表に伴い 2 ヶ月で 6 百万円程度の回数券販売が大きく影響**したものと思われます。ただし過去 4 年間 5 万人を超え、**5 万 4 ～ 5 千人はコンスタントにご利用**頂いており、地元の顧客を中心に誠心誠意のおもてなしを心掛け、各種イベントを計画実施してまいります。

- ① 従来からの優待サービスに加え、さまざまな「温泉・レジャーサイト」へホームページの情報提供を拡大、全国的な世代を問わず知名度のアップと新規顧客の獲得をめざします。
- ② 「健康とふれあいの森」とともに、近接の「三野ふれあい広場」キャンプ場とサービス連携を図って参ります。
- ③ コロナ以前のように 2 階においての個別宴会あるいは各種演芸の集い、また施設内広場における「発動機運転会」等のイベントを企画・再開致します。

健康とふれあいの森
**バンガロー
利用料金割引**

※11月～12月限定
●貸具レンタル、バーベキュー機等利用の
際には別途料金が発生します。●紅葉見
物入浴券付きです。(紅葉温泉・水曜日の
み) ●詳細は、健康とふれあいの森、紅葉
温泉のホームページをご覧ください。

健康とふれあいの森
三好市三好町芝生1342番地3
TEL.0883-77-4320
URL: <https://tenkunomori-minopark.com/>

紅葉温泉
三好市三好町加茂野宮1467
TEL.0883-77-2954
URL: <https://mino-momiji.com/>

とくとも券利用で

7人様	11,000円	8,000円 OFF
10人様	15,000円	10,000円 OFF

利用期間 1/4(出)～2/28(金)

あわ～ず徳島会報 2024年12・1月号に掲載

あわ～ず徳島とのコラボ、とくとも券特別企画

三好市ふれあい紅葉センター
もみじ
紅葉温泉

入浴券

とくとも券(1枚500円)と併用でのご利用
お昼過ぎは、1名様、利用でも
ご利用いただけます。

あわ～ず徳島
とくとも券
特別企画

※お湯を
必ずご満杯
ください

QRコード

(3) 両施設共通

① 安心安全な運営

両施設とも、従来通り 安心・安全な運営に努めます。

② 三好市三野町に生誕の地 戦国天下人・三好長慶

「戦国天下人・三好長慶を NHK 大河ドラマに！」協議会構成団体として、両施設とも三好長慶だけでなく、徳島県の自然や歴史文化などを発信し、文化・観光振興、地域経済の活性化を応援してまいります。



2024.11.3 三好長慶武者行列まつり in 三好市
長慶出生の地、記念石碑の前で



2024.11.3 三好長慶武者行列まつり in 三好市
戦国のコスプレを楽しむ参加者



2025.3.1 三好長慶武者行列 in 大東（大阪府大東市）
「徳島県勤労者福祉ネットワーク隊」として参加



2025.3.1 三好長慶武者行列 in 大東（大阪府大東市）
イメージカラーの陣羽織と烏帽子を作りました